

世界を変えるための17の目標 (Score All 17 マニュアル)

スポーツにおける持続可能な開発目標



目次

1. はじめに	2
1.1. 背景—国連の「持続可能な開発目標」	4
1.2. 持続可能な開発のイネーブラーとしてのスポーツ	6
2. 各 SDG におけるスポーツの貢献とその例	8
3. ユーススポーツと持続可能な開発	46
3.1. 意思決定におけるユースの参加と SDG に向けたユース・アドボカシー	46
3.2. 持続可能な開発、オリンピック・ムーブメントと若者	47
3.3. ユーススポーツと持続可能な開発に関するワーキングプラクティス	48
4. 謝辞	53
5. 免責事項	54



1. はじめに

私たち **Sport for Sustainable Development** プロジェクトパートナーは、スポーツが持続可能な開発目標の全 17 項目にどのように貢献でき、ユーススポーツに関わる者たちがどのようにしてより良く持続可能な未来のために変化をもたらすことができるのかを示すために行動を起こした。私たちの大陸横断的なユース・イニシアチブは社会責任の促進を目指し、ユーススポーツの指導者、スポーツ・プロフェッショナル、若者全般のために相互に関係した学習モビリティの機会を提供することでスポーツと持続可能な開発の間における繋がりについて意識を高めることを意図している。「持続可能な開発のためのスポーツ」研修コースでは、自分たちが関わる若者たちの可能性を引き出せるように参加者に力を与え、ノンフォーマル教育のツールとして、そしてそれぞれの地域、国家、国際環境において前向きな変化を増幅させるためにスポーツを活用する方法を学ぶ。持続可能な開発のためのスポーツのユース・エクステンジ (Sport for Sustainable Development Youth Exchange) では、世界が直面している主な課題と、解決策に向けてスポーツが貢献できる点について議論するために若者を集める。

本プロジェクトは長期的かつ大陸横断的な協力関係に基づいており、関係組織がスポーツに基づいたノンフォーマル教育や若者主導の持続可能な開発の分野において経験や手法を交換することを可能にし、それによって行動のレベルを高めるための能力も強化する。私たちの国際チームの多様性は、各セクターを横断するようにテーマに取り組み、若者、スポーツ組織、研究・高等教育機関の意見やインプットを反映することを可能にしています。この取り組みは、欧州連合のエラスムス・プラス (Erasmus+) ユース・プログラムによる共同出資を受けている。



プロジェクト・パートナー

- ・ ENGSO Youth (プロジェクトリーダー、欧州全域で活動するユース NGO)
- ・ 学校法人国士館 (日本)
- ・ ハンガリー体育大学 (ハンガリー)
- ・ セネガル・オリンピック・スポーツ委員会 (セネガル)
- ・ スポーツ・アンド・シティズンシップ (フランス)



プロジェクトの公式ウェブサイトはこちら：www.sport4sd.com



1.1. 背景—国連の「持続可能な開発目標」

2015年にすべての国連加盟国によって採択され、「グローバル目標 (Global Goals)」とも呼ばれる17の持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDG) は、2016年1月1日に発効した。ミレニアム開発目標 (MDG) の成果を踏まえ、これらの新たなグローバルな目標は「すべての人のためにより良い、より持続可能な未来を達成するための青写真である」。17のSDGは、グローバルなパートナーシップにおける先進国・途上国両方を含むすべての国々による行動の緊急な呼びかけを表している。これらの目標は、貧困やその他の困窮状態を解消することにより健康と教育を向上させ、不平等を削減し、経済成長を促進させる戦略と密接に関わっている必要があり、同時に気候変動に対処し、私たちの海や森林の保全に取り組まなくてはならない。

17のカテゴリに分類されている国連およびその加盟国によるこれらの目的は2030年までに私たちの世界が直面している主な課題への対処を強化する行動を策定することである。この野心的な持続可能な開発のための2030アジェンダには、これらの17の目標に含まれている169のターゲットが含まれる。



持続可能な開発のための2030アジェンダは、SDGが統合され、不可分であり、持続可能な開発における経済・社会・環境の三つの側面のバランスを図ることを意図していることを強調している。

¹ <https://sustainabledevelopment.un.org/?menu=1300>

² <https://sustainabledevelopment.un.org/post2015/transformingourworld>

各目標やターゲットは、人類や地球にとって極めて重要な分野において15年以内（2016-2030）に行動を促すものである。

SDGは、あらゆる形態及び側面において貧困と飢餓に終止符を打ち、すべての人間が尊厳と平等の下に、そして健康な環境の下に、その持てる潜在能力を発揮することができることを確保することを目指している。

2. 地球

SDGは、地球が現在及び将来の世代の需要を支えることができるように、持続可能な消費及び生産、天然資源の持続可能な管理並びに気候変動に関する緊急の行動をとることを含めて、地球を破壊から守ることを目指す。

3. 繁栄

SDGは、すべての人間が豊かで満たされた生活を享受することができること、また、経済的、社会的及び技術的な進歩が自然との調和のうちに生じることを確保することを目指す。

4. 平和

SDGは、恐怖及び暴力から自由であり、平和的、公正かつ包摂的な社会を育んでいくことを目指す。平和なくしては持続可能な開発はあり得ず、持続可能な開発なくして平和もあり得ない。

5. パートナーシップ

SDGは、強化された地球規模の連帯の精神に基づき、最も貧しく最も脆弱な人々の必要に特別の焦点をあて、全ての国、全てのステークホルダー及び全ての人の参加を得て、再活性化された「持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップ」を通じてこのアジェンダを実施するに必要とされる手段を動員することを目指す。持続可能な開発目標の相互関連性及び統合された性質は、この新たなアジェンダの目的が実現されることを確保する上で極めて重要である。もし我々がこのアジェンダのすべての範囲にわたり自らの野心を実現することができれば、すべての人々の生活は大いに改善され、我々の世界はより良いものへと変革されるであろう。

今日、毎年開催される持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラムがSDGのフォローアップとレビューのための国連の中心的なプラットフォームとして機能している³。ハイレベル政治フォーラムの他に、国連経済社会局（UNDESA）の持続可能な開発目標部（DSDG）もSDGと関連するテーマ別の課題、持続可能な開発に関するグローバル・レポート（GSDR）、パートナーシップ、小島嶼開発途上国に対して実質的な支援と能力開発を提供している。DSDGは2030アジェンダの国連システム全体での実施状況の評価と、SDGに関連するアドボカシーやアウトリーチ活動において重要な役割を果たしている⁴。



動画：https://www.youtube.com/watch?time_continue=2&v=OXTBYMfZyrM&feature=emb_logo

³ <https://sustainabledevelopment.un.org/?menu=1300>

⁴ <https://sustainabledevelopment.un.org>

1.2. 持続可能な開発のイネーブラーとしてのスポーツ

スポーツは、寛容性や尊重を促進していること、女性や若者、コミュニティの社会進出に対する貢献、ならびに健康、教育、社会的包摂などの目的により、長らく国連によって開発や平和の目標の実現に重要な貢献をするものとして見なされてきた⁵。1993 年以来、オリンピックの各大会が開催される前に、スポーツとオリンピックの理念を通じた平和でより良い世界の構築と呼ばれる象徴的な決議を通じて国連総会によってオリンピック停戦が再確認されている。さらに最近、パラリンピック大会も含めるようにオリンピック停戦が拡大された。停戦は各オリンピック/パラリンピック大会の開会より 7 日前に始まり、閉会式より 7 日後まで続き、スポーツが最も厳しい政治的な隔たりさえも橋渡しする機会を提供するものであることを思い起こさせる。

過去数年間にわたって、国連総会は開発と平和のためのスポーツについて、一連の決議を採択してきた。2003 年には、国連総会は開発と平和構築のためのツールとしてのスポーツの使用を支持する決議を採択した。2015 年には、1978 年の UNESCO 体育とスポーツ国際憲章⁶を再確認した。2008 年から 2017 年までの間に、国連はさらにもう一步進み、国連開発と平和のためのスポーツ事務局を設立した⁷。この事務所は 2017 年 5 月に閉鎖されたが、SDP 運動を世界的に促進するために英連邦事務局 (Commonwealth Secretariat)、IOC、その他の国際組織が中心となって活動を引き継いでいる。



国連の持続可能な開発のための 2030 アジェンダはスポーツを持続可能な開発の重要なイネーブラーとして認識し、寛容性と尊重の促進による開発や平和の実現に向けたスポーツの貢献と、持続可能な開発目標に対するその寄与を認めた⁸。これは「我々の世界を変革する。持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」と題された決議 70/1 に含まれていた政治宣言において特に強調されている。

⁵ <https://news.un.org/en/story/2018/12/1027531>

⁶ http://portal.unesco.org/en/ev.php-URL_ID=13150&URL_DO=DO_TOPIC&URL_SECTION=201.html

⁷ <https://theconversation.com/how-sport-for-development-and-peace-can-transform-the-lives-of-youth-126151>

⁸ <https://www.sdgfund.org/un-presents-new-toolkit-action-how-sports-can-contribute-achieve-sdgs>

⁹ https://www.un.org/ga/search/view_doc.asp?symbol=A/RES/70/1&Lang=E

スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発および平和への寄与、また、健康、教育、社会的包摂の目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する（持続可能な開発のための 2030 アジェンダ A/RES/70/1、パラグラフ 37）。

第 73 回国連総会では、2018 年 12 月 3 日に「持続可能な開発のイネーブラーとしてのスポーツ（Sport as an enabler of sustainable development）」決議を採択した。モナコが提出したこの決議では、スポーツが持続可能な開発の重要なイネーブラーであることを再確認し、寛容性と尊厳の促進による、開発と平和の実現に向けたスポーツによる貢献度の増加を認識している¹⁰。

これらのハイレベル政治宣言が後に続いていることにより、世界的な開発と平和のためのスポーツ（SDP）運動は政府や国際機関による認知度が高まりつつある。以下の要因により、スポーツに基づいた開発プログラムや介入は、若者や不利な立場にある社会集団の社会経済的な発展に容易に貢献できる。

1. **費用対効果**—一般的に、スポーツの実践には巨額の費用を必要とせず、簡単に行える。多くのスポーツは特定の施設や高価な装備を必要とせず、そのため安価であり一般大衆に対して開かれている。
2. **柔軟性**—スポーツは参加者のプロフィール、年齢、能力、ならびに活動の目的に沿って適応させ、結び付けることができる。
3. **人気**—スポーツは、直接参加しているか、観客としてスポーツイベントを見ているかにかかわらず、世界中の多くの人々によって高く評価されている。
4. **教育上の可能性**—スポーツは社会的になり、社会的・横断的なスキルを発達させ、価値ある原則を学び、自信を持つようになるといった目的のための優れたプラットフォームである。

カザン行動計画¹¹では、SDG の優先化に向けたさらなるアプローチを提供している。これは 2017 年 7 月にロシアのカザンで開催された UNESCO の第 6 回体育・スポーツ担当大臣等国際会議（MINEPS VI）において世界中の政府によって批准された。カザン行動計画は、スポーツが最も大きく貢献できる領域として 10 の目標と 36 のターゲットを強調している。これらの目標やターゲットはすべての者のためのインクルーシブなアクセスに関する包括的なビジョンの策定、持続可能な開発と平和に向けたスポーツによる貢献の最大化、スポーツの健全性の保護という三つの政策領域の文脈の中で提示されている¹²。



¹⁰ <https://en.unesco.org/news/united-nations-general-assembly-acknowledges-important-role-kazan-action-plan-advancing-sport>

¹¹ <https://en.unesco.org/mineps6/kazan-action-plan>

¹² <https://www.sportanddev.org/en/learn-more/sport-and-sustainable-development-goals/what-sports-role-addressing-sustainable>

スポーツはSDGに対処する上で重要なツールになるものの、いくつかの**限界**もある。また、すべての状況においてスポーツを活用することが可能ではない（または適切でさえない）可能性もある。

そうではなく、開発を実践するための幅広いツールキットの一部である大いに効果的なツールとしてスポーツを位置付け、最適な結果を達成するために総合的および統合的な形で他の介入やプログラムに適用すべきである。

すべてのスポーツプログラムが開発や平和の目的に適している訳ではないことは特筆しておかねばならない。商業的なスポーツプログラムは経済的にプラスに働く可能性があるものの、通常は商業的な利益が主な目的であるため、社会開発を必ずしも助長するものではない。同じく、その他の高性能スポーツプログラムも、参加できる者が制限されるため（エリートアスリートのみ、など）、開発ツールとして広く利用するには適していない。しかし、プロスポーツや高性能スポーツのイベント、連盟、クラブ、チーム、アスリートが開発と平和のためのスポーツにおいて積極的に役割を担うことができないわけではない¹³。

社会の問題は、他のあらゆる社会的領域と同じく、スポーツ環境でも見られる。その結果、スポーツには特定のリスクが伴う。これらのリスクは開発と平和の目的に悪影響をもたらすことがあり、スポーツが持つ前向きな力を最大限に発揮するためには、そのようなリスクからスポーツを守らなくてはならない。これらの例としては商業的な利益のための発展途上国出身の人材の不当な利用、対戦するチームとそのサポーターとの間における攻撃的で暴力的なライバル関係、非倫理的および不健康な行動（攻撃性、ドーピング、その他の形態の不正行為など）を助長するような「何が何でも勝つ」というメンタリティの重視などが含まれる¹⁴。

これらの限界は、sportanddev.orgによって四つのグループに分類されている。これは分かりやすいため有用であるが、しばしばお互いに重複していることも特筆に値する。例えば、低所得の車椅子利用者の場合、スポーツクラブに加入するための料金を支払うことができず（リソースの限界）、アクセス可能な公共交通機関がなく（アクセス）、差別が蔓延しており（社会的・文化的）、車椅子利用者を支えるような法律が定められていない（政策）といったコミュニティで生活している可能性がある¹⁵。

13 <https://www.sportsthinktank.com/uploads/sport-for-international-devt.pdf>

14 <https://www.sportsthinktank.com/uploads/sport-for-international-devt.pdf>

15 <https://www.sportanddev.org/en/learn-more/sport-and-sustainable-development-goals/limitations-sport-addressing-sustainable>



2. 各 SDG におけるスポーツの貢献とその例



1 NO POVERTY



目標 1: 貧困をなくそう

本目標のグローバルな導入と統計データ

国際的な規模で見ると、極度の貧困状態で生活している人々の割合は 1990 年に 36%であったのに対し、2015 年には 10%にまで減少している (UN, 2020)。しかし、近年の COVID-19 危機を含め様々な理由により変化のペースが減速しており、このような人々をリスクに晒し、貧困に対する戦いにおける努力が損なわれることが懸念されている。パンデミックによる経済の落ち込みにより世界の貧困者が最大 50 億人も増える可能性があり、これは世界人口の 8%に相当する (UNU World Institute for Development Economics Research, 2020)。このような拡大は、貧困者の世界的な増加が 1990 年以来初めてのことであり、世界人口の 10%が極度の貧困状態で暮らしている。この状況は、健康、教育などの基本的なニーズへのアクセス、水や衛生へのアクセスなど、個人に対する解決策の欠如によって特徴付けられる。それに加えて、貧しいコミュニティでは暴力的な紛争や災害によって悪化した困窮状態に苦しんでいることも多い。一日あたり \$1.90 未満で生活している人の大半がサブサハラアフリカに住んでいる。グローバルレベルでは、農村部における貧困率は 17.2% (UN SDGs report, 2019) であり、都市部で貧困に苦しんでいる人の三倍を超える数を記録している。

仕事があることは必ずしも人々が貧困のトラップから脱出するために役立つわけではないことに言及しておくことは重要である。雇用されている労働者とその家族によるまともな暮らしは常に保証されているわけではなく、仕事に就いている人の 8%が極度の貧困状態で生活している。子供など、脆弱な立場にいる者も貧困のリスクに晒されている。5 人に 1 人の子供が極度の貧困で生活している。子供の貧困を削減するためには、社会保護やサービスを提供・確保する必要がある。これらの個人は社会の仕組みから除外されてそのようなサービスから拒まれていることが多く、基本的なサービスに常にアクセスできているわけではない。持続可能な政策を履行するための資源が欠けている一部の国家では、国民に適切な機会を提供できず、そのため劣悪な生活状況によってこれらの個人をリスクに晒している。

10%を超える人口が
1 日あたり \$1.90 未満で生活している。

貧困は他の持続可能な開発目標とも大きく関係しており、貧困を脱出するために提供される機会について個人に影響する幅広い要因によって左右される。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

スポーツは個人が貧困の罠を脱出するために役立つ強力な手段となる可能性がある。貧困に苦しむ個人は十分な機会がない状況に直面していることも多く、スポーツの練習に励む機会が常にあるわけではない。スポーツの練習に参加するための障壁は、世界の地域によっては非常に高い場所もあり、参加する機会を個人から奪っている。これらの障壁には不十分な公共施設へのアクセス、紛争によるスポーツの練習ができない状態、

設備や装備の欠如、またはスポーツの練習にかかる費用などが挙げられる。しかしながら、スポーツ、体育、身体活動への参加は、これらの個人がそれぞれのスキルや能力、社会的ネットワークを発展させる機会を表す可能性がある。スポーツはチームワーク、協力、フェアプレイ、そして目標設定を通じた選手の能力や価値観を支え、補強することができ、労働市場や教育でも活用できる横断的なスキルを個人が発達させるためにも役立つ。

加えて、スポーツは、最も恵まれない人々の権利を守り、より良い生活環境や社会保障へのアクセスを支持ために彼らの声を高めるために役割を果たすことができる。スポーツで行われる取り組みは、女性の権利から労働市場への参加まで、様々な主張を守るために参加者にとって表明の場となっている。意思決定のプラットフォームは極度の貧困で暮らしている人には通常アクセスできないが、スポーツは社会により恵まれている者と同様のレベルで彼らが声を上げるための独特のチャンスをもたらす。

最後になるが、スポーツは資金を調達し、より良い世界のために活動する主要なステークホルダーを集めることで貧困を緩和する上で非常に効率的なドライバーにもなりえる。スポーツによる取り組みは貧困プログラムのために資金を調達し、恵まれない人々のエンパワーメントを担保できる。巨大なスポーツイベントは、地元の住民を支援する慈善事業や現場でのプロジェクトのために民間組織が資金を集めるための原動力になることも可能である。

その結果、スポーツは様々な文脈で貧困を緩和するための機会をステークホルダーや恵まれない人々に提供できる。世界各地でいくつかのスポーツに基づいた取り組みが効率的であり、SDG#1 に対処するために役立っている。

例



Magic Bus (インド)

Magic Bus は 12 歳から 18 歳までの年齢層に属する子供や若者が成長し、貧困から抜け出すために必要とするスキルや知識を身に付けさせる活動を展開している。これにより、問題だらけの子供時代から有意義な生活へと子供たちを導いている。

<https://www.magicbus.org/>



Love Fútbol (ラテンアメリカ)

Love Fútbol は、社会変革のための持続可能なプラットフォームとしてサッカー場を作り、再生し、再定義するようにコミュニティを巻き込み動員する世界的な非営利団体である。<https://www.lovefutbol.org/>



Tiempo De Juego (コロンビア)

Tiempo De Juego はコミュニティを変革させるためのツールとして遊びを活用し、子供や若者の能力を高め、彼らが変革の担い手となるように刺激する。同組織は子供や青年の能力を促進し、彼らが夢を達成するように促している。

<https://tiempodejuego.org/>



Waves for Change (南アフリカ)

Waves for Change は若者を巻き込む上でサーフィンが優れた方法であることに気づき、そのストーリーや挑戦をシェアし始めている。同組織は、若者が自分たちを表現するための方法としてサーフィンを使い、南アフリカの若者を対象として活動している。<https://www.waves-for-change.org/>

2 ZERO HUNGER



目標 2 : 飢餓をゼロに

本目標のグローバルな導入と統計データ

SDG は 2030 年までにあらゆる形の飢餓や栄養不良に終止符を打つことを目指しており、目標#2 はこの目的に特化している。国連の食糧農業機関 (FAO) によると、栄養不足蔓延率 (prevalence of undernourishment; PoU) によって測定される飢餓に苦しむ人の数は 2015 年から徐々に増加し始めている。2018 年には、世界中で 8 億 2000 万人を超える人々が飢えており、1 億 1000 万人が急性の食糧不足に苦しみながら生活していた。2019 年には、「世界の食料安全保障と栄養の現状 (State of Food Security and Nutrition in the World)」報告書が 2008–2009 年の世界的な経済不況の後も多くの国で続いていた経済の低迷が、飢餓や栄養不良に終止符を打つための取り組みを妨げている主な要因の一つであることを示している (FAO, IFAD, UNICEF, WFP and WHO, 2019)。報告書では、2011 年から 2017 年にかけて栄養不足蔓延率の上昇が見られた国のほとんど (77 ケ国中 65 ケ国) が同時に経済の停滞や低迷に見舞われた証拠を提示している。

現在、未曾有の COVID-19 パンデミックがどれだけ栄養不足蔓延率に影響しており、今後もそれがどの程度続くかは完全な見通しが立っていない。2020 年 4 月に発表された WFP の報告書で、以下の記述がある¹⁶。

「COVID-19 パンデミックはさらに 1 億 3000 万人の人々に急性的飢餓によって影響し、そのため、迅速に行動しなければ、2020 年末までに低・中所得国家における最大 2 億 6500 万人の人々が深刻に脅かされる可能性がある。特にアフリカと中東では、悪化しつつある社会経済的な影響により、命や生活がリスクに晒されている。」

国連世界食糧計画 (WFP) は世界中の飢餓を関しするためにオンラインのプラットフォーム HungerMap LIVE を立ち上げており、食糧不足が地域の人口にとって問題となっている場所をリアルタイムのデータで示している。食料危機対策グローバルネットワークによると、2019 年に分析した 55 の国家/地域では、十分な食料エネルギー、栄養的に多様な食事、清潔な飲み水、衛生設備、医療ケアへのアクセスが限られている**栄養不良状態にある子供が 1700 万人**いる。栄養失調状態 (消耗症、発育阻害、肥満) はすべて子供の短期的および長期的な発達と福祉に悪影響を与える。WHO によると、2018 年には 4900 万人もの 5 歳以下の子供が消耗症 (wasting) による影響を受け、さらに 4000 万人が肥満であった。子宮内および幼児期における劣悪な栄養摂取によって発生する発育阻害 (stunting) は、2018 年の時点で世界中で推定 1 億 4900 万人もの 5 歳以下の子供に影響していた。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか?

スポーツを身体活動として捉えるとき、栄養失調である者にとってスポーツは勧められるものではないことは明白であることから、目標#2 に対処するための取り組みでは注意が必要である。肥満状態と関係して、特に若者の場合、スポーツと身体活動はより健康的な体と身体能力を得るために奨励されるものである。米国では、体を動かすようになり、健康的な生活習慣について意識を高め知識を持つように若者を促すようなスポーツに基づいたプログラムの事例がある。

16 https://docs.wfp.org/api/documents/cc9c32f64353429fb2f6b2b0d36a00ef/download/?_ga=2.120512971.236619829.1588949912-1370643992.1588949912

健康的なライフスタイルを取り入れることは、その大半が消費する食品や飲料の種類と量にかかわることであり、スポーツに基づいたプログラムは、若者とその家族にこのような肝要な情報とともに、多くの場合より栄養価値高い食品へのアクセスも提供している。

資源や資金を動員するためのツールとして用いる場合、スポーツに基づいたイニシアチブやキャンペーンは十分かつ栄養価値の高い食品にアクセスできていない脆弱なコミュニティを支えることができる。このような形で、スポーツという側面は主な活動ではなく、問題に注目や資源を引き寄せる役割を果たしている。

チームやリーグなどのスポーツ機関やステークホルダーは、より良いシステムを作り、食料を持続可能かつ責任を果たしている地域の生産者から調達することによって環境の持続可能性を目指すことで、食糧廃棄問題の解決に向けて取り組むことができる。スポーツチームは、その食料の消費や調達に関して責任のある社会的な判断を下すことができ、それによってファン、他のクラブ、およびスポンサーが後に続くよう影響を与えることができる。例えば、サッカークラブの中には、全体的なサステナビリティ戦略に沿って、試合中にスタジアム内でベジタリアンやビーガンな食事を提供するようになっているものがある。

個々の選手もそれぞれのプラットフォームを活用して、栄養に配慮した食事、食品まわりでの健康的な行動、身体活動について意識を高め、世界の飢餓や栄養失調の問題の解決に取り組む組織やイニシアチブを支援することができる。

例



Jack Brewer Foundation の食料安全保障・農業プロジェクト

<https://www.thejackbrewerfoundation.org/about/>

飢餓を撲滅し食料安全保障を達成するためのスポーツの活用

https://read.un-ilibrary.org/united-nations/using-sport-to-end-hunger-and-achieve-food-security_f171d8d1-en#page1



Food for the Hungry—スポーツ・パートナーシップ

<https://www.fh.org/sports/>

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING



目標 3 : すべての人に健康と福祉を

本目標のグローバルな導入と統計データ

本目標は、容易に回避・予防できることが分かっている疾患を治すために世界中で費やされている多大な人的および金銭的な努力に端を発している。これは、全ての人を対象とした健康的なライフスタイル、予防的対策、最新かつ効率的な医療の促進に照準を合わせた予防文化を確立させることでこれらの疾患を減らすことを目的としている。この目標は過去 15 年間の間に半減した幼少期の死亡率から始まりすべての年齢層を対象としており、適切な行動計画を策定することで SDG#3 の諸ターゲットを達成できることが期待されている¹⁷。世界的な COVID-19 パンデミックが発生する前は、何百万人もの人々の健康状態を改善するために大きな進歩が見られていた。平均余命を延ばし、小児や妊産婦の死亡率に関連する一般的な死亡要因を一部減らすなど、その進歩は顕著なものであった¹⁸。



出典 : https://www.who.int/health-topics/sustainable-development-goals#tab=tab_1

17 <https://www.globalgoals.org/3-good-health-and-well-being>

18 <https://www.un.org/sustainabledevelopment/health/>

これらの成果にもかかわらず、少なくとも 4 億人もの人々が基本的な医療を受けられず、40%が社会的保護によって守られてない。長引く危機と基本的な医療サービスを提供する国家の能力が弱いことが重なっていることにより、16 億人以上の人々が脆弱な生活状況で暮らしており、世界の健康にとって重大な問題となっている。3 人に 1 人以上の女性がその人生においてある時点で身体的または性的な暴力を経験しており、彼女らの身体的、精神的、および性的・生殖的（リプロダクティブ）な健康に短期的および長期的な影響が出ている。また、2 秒ごとに 30 歳から 70 歳までの人が心血管疾患、慢性呼吸器疾患、糖尿病、癌といった非感染性疾患によって早すぎる死を迎えている¹⁹。医療制度へのより効率的な出資、下水設備や衛生状況の改善、医師へのアクセスの増加に集中することで、何百人もの人々の命を救うために大きく前進することができる²⁰。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

「予防は治療よりも良い」は健康や福祉と関係している有名な言葉であり、それに関連して、スポーツや身体活動も健康問題に関する最も優れた予防ツールの一つであることが明らかになっている。ウォーキング、サイクリング、またはスポーツ参加など、ほどほどの強度での定期的な身体活動は健康に多大な利益をもたらす。フィジカルフィットネスに直接影響するだけでなく、子供や若者の間で健康的なライフスタイルの選択について教え込み、彼らが活発であり続けるようし、さらに非感染性疾患の対策としても役立つ。どの年齢においても、体を動かすことの便益は、例えば事故などによる潜在的な危害を上回っている。身体活動のある程度行うことは、まったくしないよりも良い。比較的単純な形で一日を通じてより活発になることで、人々は推奨されている活動レベルを極めて容易に到達できる²¹。

事実、疾患のリスクを下げる上でのスポーツの主な好影響は心血管疾患（世界で最も死亡率の高い疾患）、糖尿病（世界で 6 番目に死亡率の高い疾患）、肥満（年間死亡者は 280 万人）と関係している。さらに、健康的な食事、定期的かつ十分な身体活動を取り入れることで、長期的に良好な健康状態を維持し 90 歳以上まで生きることが証明されている。

2004 年には、世界保健機関（WHO）が「食事、運動、健康に関する世界戦略（Global Strategy on Diet, Physical Activity and Health）」²²を採用し、健康的な食事や身体活動の欠如により発生する非感染性疾患の予防をその目標および目的に掲げている。その戦略の中で、WHO は以下の事項を推奨している。

- ・健康を促進させる身体活動のための全国ガイドラインの策定と実施、
- ・政策や行動計画の一貫性と補完性を確保することを目指した、他の関連する政策セクターへの身体活動の統合、
- ・体を動かすことの利点について啓発するためのマスメディアの活用、
- ・身体活動を促進させるための行動の監視とモニタリング。



動画：<https://www.youtube.com/watch?v=RAfoWVy6XhM>

これに対応して、フランス国立保健医学研究所（INSERM）が、慢性疾患の文脈におけるケアと回復プロトコルの中での身体活動のインパクトと位置づけについて分析した研究を実施し²³、慢性疾患の治療において身体活動を独立した全身療法としてついに見なすべきであると報告している。

スポーツは身体的な健康だけでなく、精神保健や福祉にも良い影響を与える。定期的な身体活動により精神保健や全体的な幸福感が向上し、うつ病、不安症、認知機能の低下といったリスクを下げ、認知症の発症を遅らせることができることが証拠から示唆されている。体を動かすことは、若者の精神保健を強化・改善するための身近かつ費用対効果が高く、インパクトのある予防アプローチである。グループによる組織的なスポーツや身体活動には、若者が他の人と社会的に繋がり、ポジティブ感情や帰属意識を体験する空間を提供できる可能性がある。また、若者がその生活において困難に感じている側面から逃れ、自分たちの苦難について安心して考えられるような環境を提供することもできる。スポーツ活動への参加は、特に適切な指導とサポートを提供する準備がコーチにできている場合、機会に恵まれない若者の精神保健や福祉を高めることができる。

¹⁹<https://www.undp.org/content/undp/en/home/sustainable-development-goals/goal-3-good-health-and-well-being.html>

²⁰<https://www.un.org/sustainabledevelopment/health/>

²¹<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/physical-activity>

²²https://www.who.int/dietphysicalactivity/strategy/eb11344/strategy_english_web.pdf

²³ <https://presse.inserm.fr/en/francais-activite-physique-prevention-et-traitement-des-maladies-chroniques-une-expertise-collective-de-linserm/33622/>

精神保健に対する身体活動の便益についてさらに詳しく知りたい方は、こちらで ENGSO Youth によるポジションペーパーをご一読いただきたい。

例

世界保健機関（WHO）は、特に COVID-19 パンデミックによるロックダウン中に、最低限の定期的な身体活動を維持するように人々を促すために、ソーシャルメディア上のプラットフォームでキャンペーンを実施している。



世界保健機関（WHO） Move for Health Day : <https://www.who.int/media-centre/news/releases/2003/pr15/en/>

 動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=1E12PuvSnQ0>

世界保健機関（WHO）の身体活動に関する世界行動計画 2018-2030 : <https://www.who.int/news-room/initiatives/gappa>

 動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=uZX14W4rVCU>

European Week of Sport (EWoS)

European Week of Sport は欧州全土でスポーツや身体活動を奨励することを目指している。The Week は、年齢や背景、フィットネスレベルに関係なく、全員のためのものである。草の根レベルでのイニシアチブに注目し、ヨーロッパの住民が定期的にアクティブに活動し（#BeActive）、人々の日常生活においてもっと運動するための機会を生み出している。
ウェブサイト : https://ec.europa.eu/sport/week_en



 動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=07-wisK5mgI&list=PLJmEREKFYU8XIURXe-su2BsgpVY6j6xUvc>

 動画 : https://www.youtube.com/watch?v=vD3Q9NJanbk&list=PLfzCRxhJO75Cy19Xd7t-SEn_wyDkLmEScy

4 QUALITY EDUCATION



目標 4：質の高い教育をみんなに

本目標のグローバルな導入と統計データ

教育を受ける権利や、教育分野における女性や女子の平等権は、本目標の基盤となっている。国連開発計画のデータによると、2000 年以來、初等教育の完全普及というターゲットを達成する上でかなりの進捗が見られている。発展途上地域における総就学率は 2015 年に 91%に達しており、世界中で学校に通えていない子供の数がほぼ半減した。また、識字率も飛躍的に向上し、これまでになく多くの女子が学校に通っている。

一方で、高い貧困度、武力紛争、その他の緊急事態により、進捗が厳しい発展途上地域もある。西アジアと北アフリカでは、武装衝突が続いていることにより、学校に行けなくなっている子供の数が増えている。これは由々しき傾向である。サブサハラアフリカはすべての発展途上の地域の中でも小学校への就学率において最も大きな進歩を遂げており、1990 年には 52%であった就学率が 2012 年には 78%にまで上昇しているものの、未だに多大な格差が残っている。最貧世帯の子供たちは最も裕福な世帯の子供よりも学校を中退する確率が最大 4 倍高くなっている。農村部と都市部の間における格差も依然として高いままである。

全ての人のためにインクルーシブかつ品質の高い教育を達成することは、持続可能な開発を前進させる上で、教育が最も強力なツールの一つであり、その威力も実証されているという考え方を再確認するものである。この目標は、すべての女子や男子が 2030 年までに無償で初等教育と中等教育を修了することを確保している。また、手ごろな価格の職業訓練への平等なアクセスの提供、ジェンダーおよび貧富の差をなくすこと、品質の高い高等教育への普遍的なアクセスの達成も目指している。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

包括的なスポーツ活動は、古くから教育を促すために用いられてきており、そのためそれらの権利を促進させるためのツールとしても認識されている。

スポーツは女性や女子、障害者、その他の弱者または過小代表集団や個人のインクルージョンと平等な参加を促すことができる。スポーツや教育におけるステークホルダーは、学校のプログラムにおいて寛容性、多様性、非差別性を促進させるために協力しあうことができる。学校との共同プログラムは追加および代替的な体育や身体活動を提供し、完全な学習過程を支援するとともに総合的な教育を実現する。

スポーツは学業成績や達成感、リーダーシップ能力、集中力、注意力を醸成することで学習成果を高めることができる。スポーツに基づいたプログラムは教育の機会や、職場を含める学校以外の局面で活用する横断的なライフスキルを提供する。スポーツ、体育、身体活動と遊びは、学校に出席し、公式および非公式の教育にかかわるように子供や若者を動機付けることができる。女子のためのスポーツプログラムは、難民キャンプで暮らす者を含め、学校に通い続けるためのインセンティブとして使用できる。さらに、スポーツの人気は、持続可能な教育カリキュラムのデザインや学校や大学による環境意識の向上を通じてサステナビリティについて啓発できる。

http://thecommonwealth.org/sites/default/files/inline/CW_SDP_2030%2BAgenda.pdf

さらに、質の高い体育も目標#4 と結び付けることができる。

<http://unesdoc.unesco.org/images/0023/002311/231101E.pdf>

欧州体育協会 (European Physical Education Association : EUPEA) マドリード宣言

十分な資格を有する教育者や責任のある機関への依存から始め、品質の高い体育については、人権の尊重とインクルーシブな教育の原則に焦点を当てるべきである。これは、創出しなければならない以下の基準につながる。

1. 体育への参加と関連する価値の促進—尊厳、フェアプレイ、寛容性（オリンピックの価値とも共通している）
2. 福祉を核に据え、最終的に政策や戦略を開発・実施するスキルセットの創出

このプログラムによる結果には、スポーツを通じた人間の能力開発と SDG の目標#4 への強みに基づいたアプローチが挙げられる。

例



PLAY International

PLAY International は、スポーツを通じたイノベーションが社会の結束を支持し、数多くの教育や健康に関連する問題を解決できるという考え方を支持しており、日々の行動を通じてそれを示している。Playdagogy は、子供が遊びながら学習できる、革新的で積極的な教育手法である。Playlab は、社会的なイノベーションを中心に協力し合うために、スポーツを通じて人々を一つにしている。

ウェブサイト：<https://www.play-international.org/en>

Moving the Goalposts (ケニア)



Moving the Goalposts (MTG) は、女子や若い女性がケニア沿岸部で直面している社会的な障壁を乗り越えるためにスポーツの力を借りる、開発のためのスポーツ組織である。ウェブサイト：<https://mtgk.org>

<https://www.youtube.com/watch?v=RUTK-dsOVeg>

<https://www.sportanddev.org/en/article/news/power-sports-promoting-quality-education>

TOPs—Creation of Modern Educational Technology in Physical Education (アゼルバイジャン)



TOPs はブリティッシュ・カウンシルとアゼルバイジャンの教育省および Sport for Development Public Union による共同プロジェクトである。本プロジェクトは、体育における最新の教育手法に関する新たなスキルを体育教師に身に付けてもらい、中等学校における身体的・心理的な健康状態を保護する機会を創出することで学習者の身体能力の発展に有利な環境を生み出すことを目的としている。<https://www.britishcouncil.az/en/programmes/education-society/TOPs>

5 GENDER EQUALITY



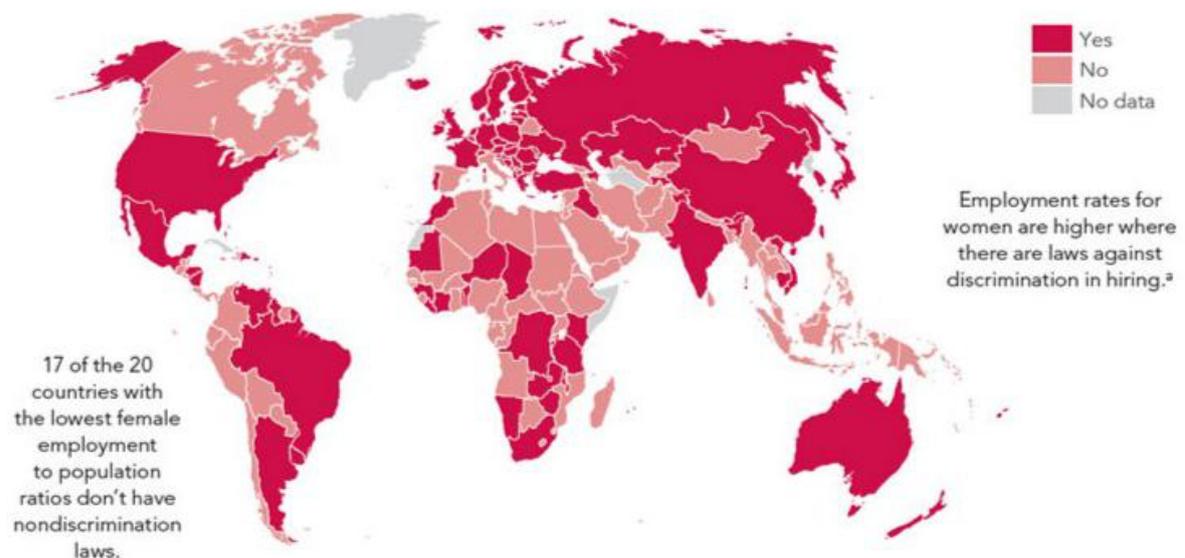
目標 5 : ジェンダー平等を実現しよう

本目標のグローバルな導入と統計データ

ジェンダーの平等は人権である。女性には尊厳を持って生活し、欲望や恐怖から解放されて自由に生きる権利がある。ジェンダー平等は開発と進め貧困を削減するための前提条件でもある。地位が向上した女性は家族全体やコミュニティの健康や生産性に貢献し、次世代の展望を改善させる。

Laws are a first step in helping women and girls achieve gender equality. About half of all countries have laws against gender-based discrimination in hiring.

Does the law mandate nondiscrimination based on gender in hiring? 2017



a. World Bank Women, Business and the Law 2016

Source: World Bank Women, Business and the Law 2018. World Development Indicators (SG.LAW.NODC.HR; SLEMP.TOTL.SP.FE.ZS).

出典 : World Bank Women, Business and the Law 2018

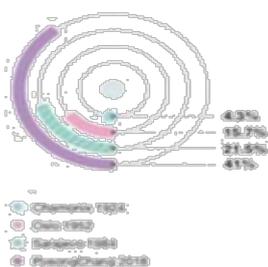
オリンピックにおける女性の参加

オリンピック大会における女子選手の数には 50% に近づきつつある。2012 年以來、女性は大会で開催されるすべてのオリンピック競技に参加してきた。オリンピックに含まれるすべての新たなスポーツには、女子大会も含まれていなくてはならない。IOC は IF（国際競技連盟）や組織委員会と協力して、オリンピックプログラムにおける女子大会の数を増やしている。

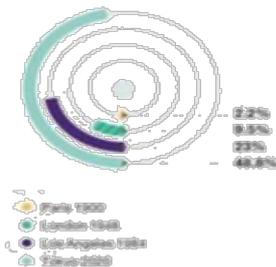
Women's participation in the Olympic and Youth Olympic Games

FEMALE ATHLETES' PARTICIPATION

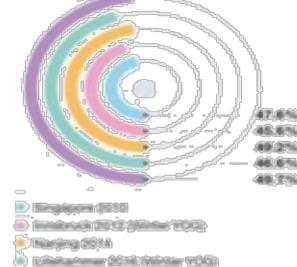
FEMALE PARTICIPATION AT THE OLYMPIC WINTER GAMES



FEMALE PARTICIPATION AT THE OLYMPIC GAMES



FEMALE PARTICIPATION AT THE YOG AND WINTER YOG



出典：International Olympic Committee

スポーツのリーダーシップにおける女性の代表性

スポーツ組織における女性による参画程度の低さは、欧州のみならず世界的な問題である。2015年に発表された世界のスポーツ委員会における性別の多様性に関する研究²⁴でも、同様の結論が得られている。著者（Johanna Adrianse）は、45ヶ国の国家スポーツ連盟（NSF）のスポーツ組織を対象に、スポーツ界のリーダーシップにおける女性の世界的な指標である「シドニー・スコアボード」²⁵のデータを分析した。スポーツのリーダーシップにおける女性の平均結果（19.7%）は、彼女らが占める割合の低さを明確に示している。女性の割合が30%を超えていたのはクック諸島、ノルウェー、フィジー、スウェーデンの四ヶ国のみであった。理事長（10.8%）や最高責任者（16.3%）としての女性という他の二つの主要な指標を反映しているこれらの結果は、影響力のあるリーダーシップの役職に就くことが女性にとってさらに難しいことを示している。大陸間での比較からは、これらの三つの指標のいずれにおいてもクリティカル・マスである30%を達成している地域がないことが明らかになっている。

2018年には、国際連盟（夏季、冬季、公認）のうち4つの連盟の会長と、18の連盟の事務局長が女性であった。2015年には、23の国際連盟の執行委員会において女性が20%以上を占めていた。13の連盟では、執行委員会に女性がいなかった。

2018年の時点では、13ヶ国において女性がNOC会長に就任しており、33ヶ国では事務局長が女性であった。2015年には、（IOCの調査に参加した135ヶ国のうち）27ヶ国のNOCにおいて執行委員会の女性の割合が30%以上に達していた。一方で、62ヶ国のNOCでは執行委員会における女性の割合が20%未満であり、10ヶ国では依然として執行委員会に女性がいない状態であった。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

女性や女子によるスポーツ活動のために指定された空間を提供することは、実用的な利点だけでなく、特にこれらのエリアが公共のものである場合、象徴的な性格を持つことができる。一般的に、コミュニティエリアへのアクセスは主に男性や男子に与えられている。女性や女子がこれらのコミュニティスペースに出入りする場合は、通常は特定の条件（例えば男性の家族に付き添われている場合）の下で許可されている。これまでの経験から、女性や女子が公共の場を主張することで、地域社会は彼女らが男性や男子と公共の場を共有することに徐々に慣れていく可能性がある。

インフラに加えて、女性と女子のためのスポーツプログラムには、組織的な構造も必要であることが分かっている。女性や女子が積極的に主導的な立場に立つことを支援し、公平性（金銭面も含む）、意思決定や戦略的計画への参加（理事会のメンバーになるなど）を目指す、よく計画され、実施されたプログラムは、そのようなプログラムに参加する女性の自己認識や自信に持続的な変化をもたらすことに成功する可能性が高い。

²⁴ https://www.researchgate.net/publication/273286425_Gender_Diversity_in_the_Governance_of_Sport_Associations_The_Sydney_Scoreboard_Global_Index_of_Participation

²⁵ <http://sydney scoreboard.com>

2018年の時点では、13ヶ国において女性がNOC会長に就任しており、33ヶ国では事務局長が女性であった。2015年には、(IOCの調査に参加した135ヶ国のうち)27ヶ国のNOCにおいて執行委員会の女性の割合が30%以上に達していた。一方で、62ヶ国のNOCでは執行委員会における女性の割合が20%未満であり、10ヶ国では依然として執行委員会に女性がいない状態であった。

発展途上国のスポーツプログラムは、通常、自発的に働くスポーツコーチによって運営されている。スポーツプロジェクトでは、望ましい結果を得るために、専門的な訓練を受けたスタッフが必要であることが示されている。調査によると、女子や女性のスポーツ参加を支援し、プログラムを持続可能なものにするためには、十分なスキルを持った人材を確保するための付加的なインセンティブ(報酬、伝達可能なスキル、機材、さらなる教育、メディアへの露出、旅行の機会、その他のリソースなど)を提供する必要がある。

これまでジェンダー平等を推進する上で最も効果的であると証明されてきたスポーツプログラムは、プログラムが行われるコミュニティや状況によく溶け込んでいるものである。これまでの経験から、コミュニティの抵抗を受けながら実施されたプログラムは、プログラム終了後に活動を継続する可能性が低いことが分かっている。コミュニティから得られる知識やリソースを活用したプログラムは、長期的な影響を維持する上でより効果的である傾向がある。

例

Youth initiatives: Girls Rugby (米国)



Girls Rugby は、女子だけでノンコンタクトのラグビーを楽しみながら、リーダーシップ、エンパワーメント、達成感、敬意、スポーツマンシップなどの重要なスキルや基本的な価値観を学べる場を提供している。Girls Rugby は、スポーツを通じて女子を成長させるという理念を体現しており、チームスポーツへの参加が彼女らの人生に良い影響を与えることを理解している。Girls Rugby は IOC ヤングリーダーの Erin Kennedy 氏が立ち上げている。 <https://www.girlsrug-byinc.com>



コロンビアにおけるFootball13を通じた若い女性の地位向上

Fundacion Colombianitos という組織を通じて、Mercedes Vasquez Micolta は Football13 ツールキットを活用してコロンビアの紛争地域で教育やジェンダー平等を促進させるための活動を開始している : <https://www.streetfootballworld.org/football13/>

その他の例 :

She' s Game :



https://www.youtube.com/watch?v=3T1WHGKA6DM&feature=emb_logo

平等性のために戦うスポーツ界の女子 :



https://www.youtube.com/watch?time_continue=108&v=eBekEn9WSmY&feature=emb_logo

IOC ジェンダー平等再検討プロジェクト :



<https://vimeo.com/255507047>

女性初のマラソン選手 :



<https://www.youtube.com/watch?v=fOGXvBAmTsY>

テニス選手ビリー・ジーン・キング :

<https://www.theguardian.com/sport/2013/jun/23/billie-jean-king-equality-message>

6 CLEAN WATER AND SANITATION



目標 6 : 安全な水とトイレを世界中に

本目標のグローバルな導入と統計データ

SDG#6 は、「すべての人に水と衛生の利用可能性と持続可能な利用を保証する」ことを目的としている。

地球は「水の惑星」とも呼ばれているが、人間が利用できる水の 70%のうち、淡水はわずか 2.5%、そのうち地表に出やすいのは 1.2%にすぎない。水は、喉の渇きを潤すだけでなく、私たちの生活に欠かせないものでもある。世界では、約 12 億人の人々が飲料水へのアクセスが困難であり、約 16 億人には基本的な水の衛生設備のための十分なインフラが整っていない。

世界の水質汚染の主な原因は、都市や農業・工業活動によるものである。発展途上国では、汚水の 80%が処理されずに河川や湖沼に直接排出されており、水資源の利用可能性をさらに低下させている。汚染された水は、下痢、コレラ、赤痢、発熱、腸チフス、ポリオなどの病気を引き起こす可能性がある。汚染された水を飲むことで、年間 485,000 人が下痢で死亡していることが推定されている。

このまま何もしなければ、そう遠くない将来、水問題を巡って国と国、国民の間で紛争が起こることが専門家らによって予測されている。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

水の浄化と処理のための戦いにおいて、その緊急性のみならず、今日このテーマの認知度の高さも手伝って、スポーツはチェンジメーカーとして重要な役割を果たしている。対策を実施するための強力なインセンティブとなるのが、オリンピックや世界選手権（サッカーや陸上競技など）などの主要なスポーツイベントの開催である。

直近で開催された 2 つの夏季オリンピック（2016 年リオ大会、2020 年東京大会）では、水の保護プログラムが実施されている（現在も実施中）。これらのプログラムでは、都市と未来の世代の両方に対し、効果的かつ持続するレガシーを残そうとしている。

ブラジルでは、リオデジャネイロ地域、特にオリンピックの会場となるグアナバラ湾の水をきれいに処理することを目的とした全体的なプログラム（サニテーションパクト）が実施された。これは完全には実現しなかったものの、プログラムは 2017 年まで継続して実施されている。このプログラムでは、湾内にフィルターを設置して廃棄物を除去し、水処理場を設置し、その周辺には森林を再生し、水域から固形廃棄物を除去した。

 動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=keDhORnfA4Q>

東京では、次のオリンピックに向けて、「より良い未来へ、ともに進もう。地球と人のために (Be better, together - For the planet and the people)」という持続可能性のコンセプトのもと、水資源を有効活用して支出を抑え、再利用を促進する。多くの会場（ホッケーやフェンシングの会場など）は、再成長させることができる原材料やリサイクルした材料を用いて建設されており、雨水を保持して処理し、内部で使用できるようになっている。このような建設技術や材料の使用により、これらのインフラでは最大で%の水を節約することができ、スポーツが水の持続可能性の促進をリードする優れた例となっている。

その他のスポーツ関連の例

クリケットが最も重要なスポーツであるインドでは、スタジアムから出るゴミが分別されず、埋め立て地や海に流れてしまうことから、いくつかの対策が取られた。スタジアムには、濡れたゴミ用と乾いたゴミ用のゴミ箱が設置され、ゴミが適切な場所に捨てられるようにボランティアが募集された。そして、濡れたゴミはバイオガスや堆肥化プラントに、乾いたゴミはリサイクル工場に送られた。この取り組みにより、海を汚染し、さまざまな生態系を危険に晒すような何トンものプラスチックが海に捨てられなくなった²⁶。

世界大会や有名なボルボ・オーシャンレースなどのヨットレースイベントでは、海の保全とその汚染について意識を高めるために、複数のイニシアチブが実施されている。これらのイニシアチブにはプラスチック製のボトルやストローの使用の全面的な禁止、再生利用した水ボトルの使用、船員や乗組員による使用に向けた海水の濾過、海洋生物や海洋保全に関するチームの研修・教育セッション、大会海域におけるマイクロプラスチックの量を分析しその実態を明らかにするためのヨットの使用、などが挙げられる²⁷。



有名スポーツブランドの Adidas は、海洋汚染をスポーツウェアやシューズに変えるために、環境団体 Parley に参加した。2019 年には、このプログラムで 1,100 万足の靴を生産し、すでに 2,800 トンのプラスチックを海に捨てずに済んでいる。プラスチックはすべて、廃棄物の多いビーチや沿岸地域から回収され、その後、プラスチックは Adidas の工場では靴や他のユニフォームに生まれ変わり、他のものと同じように快適に過ごすことができる。実際、同社はすでに製品の 40% をリサイクルポリエステルで生産しているが、このリサイクルポリエステルは、これらの海洋地域のプラスチックから作られたものである。

このパートナーシップにより、Adidas は海洋の浄化と保護のための戦いにおいて重要な例を提示している²⁸。



動画：https://www.youtube.com/watch?time_continue=4&v=iisMyJdkyqg

26 <https://www.unenvironment.org/news-and-stories/story/10-ways-world-sport-tackling-plastic-pollution>

27 <https://www.sailing.org/news/87542.php#.XrRo8xNKjX9>

28 <https://www.businessinsider.com/adidas-parley-ultra-boost-womens-review>

29 <https://www.youtube.com/watch?v=pJBRqespi0A>

7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY



目標 7：エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

本目標のグローバルな導入と統計データ

SDG7 の目的は、すべての人に安価で信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを保証することである。化石燃料と温室効果ガスの排出は、環境破壊につながるだけでなく、人々の健康にも悪影響を及ぼす深刻な問題となっている。再生可能エネルギーへのアクセスが可能になってきているにもかかわらず、世界の 10 人に 1 人が電気を利用できず、30 億人がいまだに直火や非効率的なストーブで固形燃料（木材、作物の廃棄物、木炭、石炭、糞など）や灯油を使って調理している³⁰。国連 SDG の目標#7 を達成するためには、電力消費量を削減するために、クリーンで再生可能なエネルギー源に投資し、費用対効果の高い基準を採用することが最も重要な活動となる。さらに、研究者と企業の国際協力を強化し、再生可能エネルギーに有利な技術を開発し、再生可能エネルギー分野への投資意欲を促進することが非常に重要である。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

スポーツセクターにおける SDG#7 の達成は、スポーツセクターの意思決定者とスポーツインフラの開発者の双方が支援できることである。最新のスタジアムやその他のスポーツ施設を設計する際には、LEED 認証 (Leadership in Energy and Environmental Design) が不可欠である。風力や太陽光を利用したエネルギー生産の進歩により、これらの再生可能技術はスポーツセクターでも広く利用できるようになってきている。カーボントラスト社の調査によると、スポーツセクターのエネルギーコスト全体のうち、照明が占める割合は最大で 20%にも上り、不必要なエネルギー消費を削減する絶好の機会となっている。Carbon Trust 社の調査によると、スポーツセクター³¹のエネルギーコスト全体のうち、照明が占める割合は最大で 20%にも上り、不必要なエネルギー消費を削減する絶好の機会となっている。施設管理者はエネルギーの専門家と協力し、エネルギーの節約に向けた重要な機会を見出すこと。

高レベルのアスリートもエネルギー節約に貢献できる可能性を秘めている。例えば、スポーツ大会時には、エネルギー配慮した取り組みを支持し、環境に優しい交通手段を促進することができる。スポーツイベントの主催者は、観客が自転車を利用する場合、スポーツイベントのチケットを安く提供し、地元の公共交通機関の管理者と合意して観客に無料の公共交通機関のチケットを提供するなどの行動により、エネルギー消費量の少ない交通手段を支援することができる。さらに、スポーツイベントの主催者は再生可能エネルギーに関する取り組みを推進することができ、スポーツ団体もエネルギー節約の取り組みを実施することで、エネルギー効率に対する意識を高めることができる。

例

良い例としてはロンドンにあるエミレーツ・スタジアムがあり、施設を運営するために必要なサッカーの試合 1 回分のエネルギーを貯蔵できる蓄電池系が設置されている。詳しく読みたい方はこちらまで：<https://www.power-technology.com/news/arsenals-battery-system-emirates/>



米国のメルセデス=ベンツ・スタジアム



動画：https://www.youtube.com/watch?time_continue=56&v=L-DYFYUwujw

30 <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/household-air-pollution-and-health>

31 <https://www.centricabusinesssolutions.com/blogpost/reducing-energy-costs-sports-and-leisure-sector>

8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH



目標 8：働きがいも経済成長も

本目標のグローバルな導入と統計データ

世界には、15 歳から 24 歳までの若者が約 13 億人いると言われている。また、世界の若者人口の約 41% に当たる約 4 億 9,700 万人の若者が労働力として働いている。このうち、4 億 2900 万人が雇用されており、6800 万人が仕事を探しており、仕事が可能なお状態にある（これらを未雇用者と定義する）。世界的に見ると、現在、若者の 5 分の 1 がニートの状態にあるが、これは労働市場で経験を積むことも、仕事から収入を得ることも、教育やスキルを高めることもできていないことを意味している³²。

現在、スポーツ産業は、世界経済にとって大きな可能性を秘めたセクターであり、何百万人もの人々に雇用機会を提供している。世界のスポーツセクターの時価は\$7,000 億~\$8,000 億と推定され、これは世界の GDP の約 1.5%に相当する³³。EU 全体では、スポーツ関連の雇用が総雇用に占める割合は 2.12%である。これを絶対値で表すと 446 万人の従業員に相当する³⁴。

スポーツはそれ自体はニッチであるものの、スポーツイベント、スポーツインフラ、トレーニング、メディア、グッズ製造、スポーツ用品の製造・販売など、いくつかのサブセクターが関わっている。また、教育、運輸、観光など、世界経済の主要なアクターもスポーツ産業に関わっている。スポーツ産業の中でより多くのサブセクターが形成されていくにつれて、スポーツの分野で働く従業員の数も増加している。

スポーツイベントは、草の根レベル、国内レベル、国際レベルにかかわらず、エコノミックな成長と雇用に大きく貢献する。近年では、メガスポーツイベントにおける労働力の可能性が注目されている。2019 年 7 月時点で、日本全国で約 190 万人が東京オリンピック・パラリンピックによって新たな雇用機会を得る可能性があると言われている³⁵。メガスポーツイベントの大規模なインフラ（スタジアム、ホテル、交通インフラなど）は、産業界において雇用機会を創出している。スポーツイベントは、長期的に見てスポーツツーリズムに効率的な影響を与えることができる。スポーツツーリズムは、観光産業全体の中で最も急成長している分野であり、失業問題に対処し、地域社会、特に低開発国の経済成長と社会福祉を向上させるための効果的なツールである。

スポーツ・アスレチック用品製造市場は経済の大部分を占めており、2022 年には約\$1,555 億 9,000 万の価値に達すると予想されている³⁶。この業界の企業は、小規模な専門企業から、大規模なスポーツ用品や特定の製品を含む多角的な企業まで様々である。この業界の規模は、製造、輸送、マーケティングなど、幅広い範囲で雇用機会を提供している。しかし、この産業が提供する十分な労働条件にはまだ問題が残っている。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

スポーツは、すべての人による充実した生産性の高いまともな仕事への就職を実現するために重要な意味を持っている。スポーツの人気は、人々を結びつけ、自信、リーダーシップ、コミュニケーション、チームワーク、問題解決、人間関係の構築などのスキルの向上に貢献し、ボランティア活動を促進し、職業体験を容易にするプラットフォームとして利用することができる³⁷。

32 https://www.ilo.org/global/publications/books/WCMS_737648/lang-en/index.htm

33 https://growthlab.cid.harvard.edu/files/growthlab/files/cidwp_321_assessing_sports_economy.pdf

34 <https://ec.europa.eu/assets/eac/sport/library/studies/study-contribution-sports-economic-growth-final-rpt.pdf>

35 <https://www.statista.com/statistics/1097015/japan-estimated-number-of-new-employments-tokyo-2020-olympics-and-paralympics/>

36 <https://www.thebusinessresearchcompany.com/report/sporting-and-athletic-goods-manufacturing-global-market-report>

37 <https://thecommonwealth.org/sites/default/files/inline/EnhancingtheContributionofSporttotheSustainableDevelopmentGoals.pdf>

このようなプログラムでは、スポーツを利用して若者を惹きつけ、スポーツ以外のさまざまな活動を通じて精神的な成長を図り、すべての活動において雇用可能性を重視している³⁸。発展途上国では、若者の失業や不完全雇用が大きな問題となっており、仕事の質、安定性、定期性に特に問題があるとされている。

特に発展途上国では、スポーツは地域のビジネスや産業の向上に貢献することができる。地域や全国規模のスポーツイベントは、地域や周辺地域の人々を集め、地域のビジネスを動かす新たな環境を生み出す可能性がある。例えば、カヤックやマラソンなどの地域のスポーツは、スポーツ用品の製造や観光客の誘致など、地域レベルで小さな産業を生み出す可能性がある。地域コミュニティは、自らのスキルを高めるためのソースを提供され、地域や国際的に能力を発揮するために自らの能力を活用することをサポートされるべきである。それに加えて、プロスポーツ選手の地元企業や不動産への投資は、一部の発展途上国では重要な価値観となっている。

さらに、スポーツをベースとしたプログラムを通じて、不利な立場にある人々のソフトスキルを向上させ、適切な雇用を獲得・維持するのに役立つと思われる多くの優れた実践例がある。これらの実践を理解し分類することの重要性は、スポーツを雇用のためのツールとして利用するための今後の取り組みや機関の意識向上に貢献するであろう。ENGSO YouthはSK4YSプロジェクトを行っており、スポーツを通じて得られるソフトスキルや能力に対する認識を高め、スポーツに基づいた雇用プログラムの実施に向けて組織の能力を構築している³⁹。

これらのプログラムを世界的に展開することで、キャリア開発に貢献し、さまざまな地域の若者の失業問題に取り組むことができる。スポーツに基づいた取り組みは、地域社会の具体的なニーズを考慮して設計・実施されるべきである。また、スポーツは、発展途上国の恵まれない若者の雇用力向上を支援するための素晴らしいツールでもある。さらに、スポーツにおけるボランティア活動の文化を発展させることで多くの利益をもたらすことができ、スポーツにおけるボランティア活動も有給雇用へのアクセスを提供する。

スポーツを通じた雇用機会を創出する一方で、私たちは、人間の権利の強固な基盤を作る必要がある。例えば、スポーツイベントは、労働力の機会を創出するだけでなく、すべての労働者の人権とまともな仕事を促進する責任を負うべきである。一方で、グローバル・サウスに住む何百万人もの人々がスポーツ用品の生産に従事しており、大きな問題となっているのは、グローバル・サウスにある工場では若者（主に若い女性）が働いていることである。スポーツ用品業界では、関連機関が常に懸念してきた児童労働の問題が明らかになっている。民間の製造業のサプライチェーンを通じた自主規制が効果を発揮しない場合には、介入が必要となることがある。このような状況では、スポーツやその他の産業の関係者が組織的に連携することで、子供の権利を守るための効率的な規制が可能になる。例えば、パキスタンのサッカー製造業界では、児童労働の防止と撤廃に向けた共同作業に焦点を当てた効果的な運動が行われていた⁴⁰。また、ILO(国際労働機関)による児童労働に関する世界的な啓発キャンペーン「児童労働レッドカード (Red Card to Child Labour)」は、世界中の児童労働に対する意識を高める上で大きな成功を収めている⁴¹。

例

Sport 4 Life UK



Sport 4 Life UKは、バーミンガムの社会的に疎外された不利な立場にある若者を支援するために存在する青少年慈善団体である。Sport 4 Lifeは、若者たちのために競技場を平らにし、人生の最初から苦しい闘いに直面している彼らが成功するための環境を整えることをビジョンに掲げている。スポーツをテーマにした個人開発プログラムを提供し、若者の雇用適性や重要なライフスキルの向上を支援している。ウェブサイト：<https://sport4life.org.uk/>

 動画：<https://www.youtube.com/watch?v=LB0siEENOKM> 動画：
<https://www.youtube.com/watch?v=LB0siEENOKM>

38 <https://op.europa.eu/en/publication-detail/-/publication/e189cc96-b543-11e7-837e-01aa75ed71a1>

39 <https://www.youth-sport.net/sk4ys>

40 https://www.ilo.org/global/about-the-ilo/newsroom/news/WCMS_071247/lang--en/index.htm

41 https://www.ilo.org/global/about-the-ilo/artworks/take-action/WCMS_191210/lang--en/index.htm



Sport for Kenyan Youth Employment (SKYE)

ケニアのマザレで暮らす若い男性や女性の成功を支えるために、この独特なイニシアチブでは、サッカー、Passport to Success によるライフスキルの訓練、需要のある技術スキルの実習体験を組み合わせている。SKYE パートナーシップの下には IYF、Barclays PLC、Mathare Youth が集っている。ウェブサイト：

<https://www.iyfnet.org/initiatives/sport-kenyan-youth-employment-skye>

動画：<https://www.youtube.com/watch?v=P6PFnrLeAnU>



Sport dans la Ville (フランス)

Sport dans la Ville は、若者が成功への道を切り拓けるように支援するためにスポーツプログラムに頼っている。

このフィールドワークに基づいて、Sport dans la Ville は Job dans la Ville プログラムを開設し、訓練や雇用について若者を指導している。

ウェブサイト：<https://www.sportdanslaville.com/>



Oltalom Sport Association (ハンガリー)

フェアプレイ、寛容性、社会的インクルージョンの精神に基づいて運営されている Oltalom Sport Association は 10 年以上にわたって革新的な教育手段としてスポーツを活用しており、毎年何百人もの人々に定期的な無償のトレーニングで精神的にも身体的にも自分自身を最大限活かす機会を提供している。

ウェブサイト：<http://utcaifoci.hu/en/>

9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE



目標 9：産業と技術革新の基礎をつくろう

本目標のグローバルな導入と統計データ

目標#9 は、簡単に言えば、「回復力のあるインフラを構築し、包括的で持続可能な工業化を促進し、イノベーションを促進する」ことを目指している。⁴² これは、イノベーションの支援を受けたインフラの持続的な導入を意味している。その目的は、モビリティサービス、上下水道、インターネット、エネルギーへのアクセスを持続可能にすることである。持続可能な実施のためには、資源の効率的な利用と、環境に優しいクリーンな技術の拡大が大きな役割を果たしている。公共の計画については、健康、騒音防止、大気汚染防止、気候変動と適応、天然資源の保護などの要件を考慮する必要がある。しかし、民間企業も、持続可能な経営、すなわち資源を節約し、汚染物質をほとんど出さない生産を通じて、グローバルな持続可能性の目標達成に貢献しなければならない。環境に配慮した対策は、人間の生活・労働環境を持続的かつ有益に改善することにつながる。

そのため、この目標のすべての側面に到達するために取るべきステップを区別できるように、特定のターゲットを策定している。インフラについては、地域や国境を越えたインフラの整備、経済発展の支援に重点を置いている。産業化に関しては、さらなるインクルージョンと持続可能性の促進が目標として掲げられており、GDP の増加とより多くの雇用の場の創出が成功につながるとしている。さらに、発展途上国の中小企業は、世界市場で競争できるような資金調達手段に容易にアクセスできるようになる。この点では、環境要因も重要であると考えられており、「資源利用効率の向上」と「クリーンな技術の出現」が強調されている。産業部門のための革新的なソリューションを生み出すために、世界的な研究能力を拡大しなければならない⁴³。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

UNOSDP が活動していた時代には、目標達成のためにスポーツが貢献できる基本的な分野を策定するという行動をすでに起こしていた。例えば、各国のスポーツ産業は当然ながら国の産業の一部であり、持続可能な経済成長と公正な労働条件に貢献するものでなければならないと指摘している。さらに、**革新的なスポーツプログラムは雇用可能性も高めることができ、すべての人々、特に不利な立場にある若者の雇用を強化し、包括的な社会を育成する。**一般的に、スポーツイベントは、持続可能性を確保するために、革新的な方法で長期的に地域社会を巻き込むべきである。このようなイベントの際に適切な政策を採用することで、適切な雇用と能力開発が促進され、「社会的にも環境的にも持続可能な開発」につながる可能性がある。スポーツ用品の製造においては、人権擁護の観点から、職場での差別や児童労働を絶対に防止する必要がある。

また、スポーツによる観光分野への経済効果も無視できない。スポーツイベントを含むスポーツツーリズムは、雇用を創出し、地域の文化や製品を促進し、文化意識を高めることができる⁴⁴。

42 https://www.un.org/sport/sites/www.un.org.sport/files/ckfiles/files/Sport_for_SDGs_finalversion9.pdf

43 <https://sustainabledevelopment.un.org/SDG9>

44 https://www.un.org/sport/sites/www.un.org.sport/files/ckfiles/files/Sport_for_SDGs_finalversion9.pdf

例



ENGSO が主導する CHAMP プロジェクト

ENGSO が主導するエラスムス・プラスの資金援助を受けた CHAMP プロジェクトは、スポーツムーブメントに近代化のための革新的なツールと教育を提供することを目的としており、身体活動の促進のための現在のトレンドとソリューションに関する新鮮な洞察を提供している。

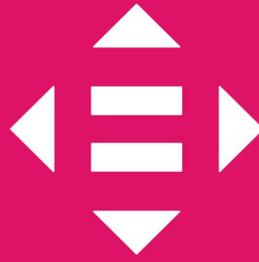
情報：<https://www.engso.eu/post/get-to-know-engso-s-new-erasmus-project-champ>



また、[develoPPP.de](https://www.developpp.de)⁴⁵ プログラムを利用した、スポーツ用品メーカーとの戦略的提携の例もある。ブラジルと南アフリカの一部の小学校で、スポーツをベースとした教育を行い、恵まれない子供たちを支援することを目的としている。また、今回の提携により、一般的な運動を促進し、将来的に医療費がかかることを防ぐことができる。詳細はこちらよりご覧いただける（ドイツ語）：[Deutsches Engagement - Sport als übergreifendes Thema für Entwicklung nutzen](#)

⁴⁵ <https://www.developpp.de/en/>

10 REDUCED INEQUALITIES



目標 10：人や国の不平等をなくそう

本目標のグローバルな導入と統計データ

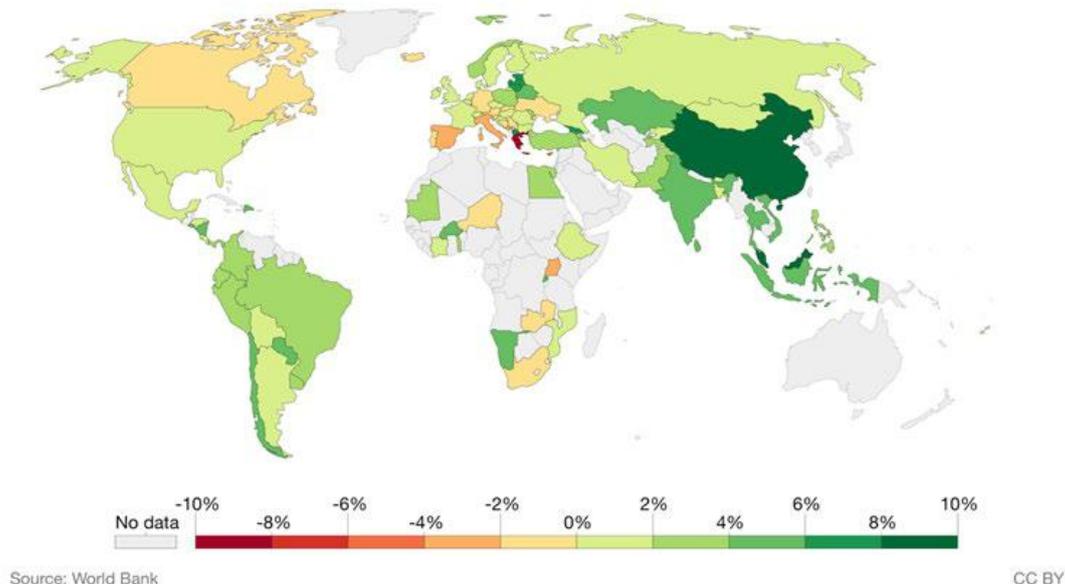
国内および国家間で見られる不平等は、以前として懸念材料であり続けている。多くの国々では人口の下位 40%がプラスの成長率を遂げているなど、進捗が見えるにもかかわらず所得格差が世界各地で拡大し続けているが、欧州では最も遅く中東で最も速いなど、異なるスピードで進んでいる。

最も豊かな上位 10%は世界の所得のうち最大 40%を独占しており、下位 10%の最貧国はたった 2%から 7%しか得ていない。発展途上国における人口成長率の不平等性を考慮すると、不平等は 11%増加する。不平等を削減し、誰も取り残さないようにすることは、持続可能な開発目標を達成する過程にとって不可欠なことである。

Annualized average growth rate in per capita real survey mean consumption or income, bottom 40% of population, 2017

Our World in Data

The growth rate in the welfare aggregate of the bottom 40 percent is computed as the annualised average growth rate in per capita real consumption or income of the bottom 40 percent of the population in the income distribution in a country from household surveys over approximately a five year period.



出典：Income growth inequalities map by World Bank 2017. (2017 世界銀行による所得成長の不平等マップ)

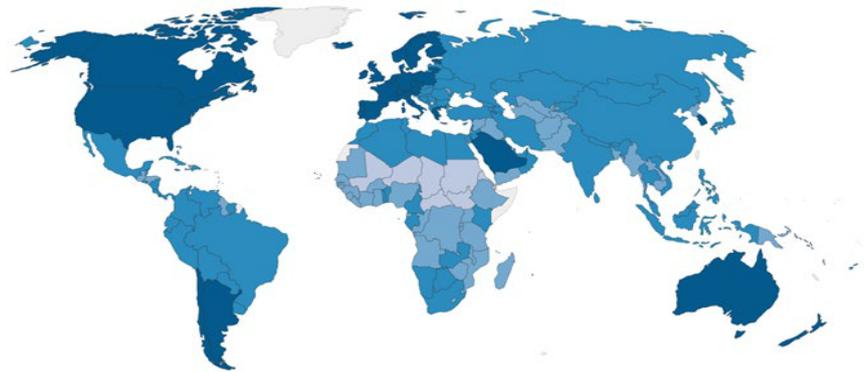
不平等は未だに続いており、医療・教育サービスやその他の資産へのアクセスにおいて多大な格差が今も残っている。

成人人口が受けた学校教育の総年数の平均を表したマップ。

Expected Years of Schooling, 2017

The number of years of schooling that a child of school entrance age can expect to receive if the current age-specific enrollment rates persist throughout the child's life by country.

Our World
in Data



Source: UNDP, HDR (2018)

CC BY

出典：UNDP、HDR (2018)

不平等を削減することは持続可能な開発のための 2030 アジェンダを構成する 17 のグローバル目標の一つである。他の持続可能な開発目標を達成するために、誰も取り残さないようにすることが取り組みにおいて必要不可欠な部分であることを保証する上で重要である。

特にここ数ヶ月において、COVID-19 が最も貧しく最も脆弱なコミュニティに最も強く影響することにより、既存の不平等が深まり、状況がさらに厳しくなっている。パンデミックにより世界の失業率が大きく上昇し、世界の労働者の収入を格段に減らしている。難民や移民、ならびに先住民、高齢者、障害者、子供などが特に取り残されるリスクに晒されている。

拡大しつつあるこれらの格差には、低所得者に力を与え、性別や人種、民族性にかかわらず全ての人を対象とし、世界的な解決策を要する経済的インクルージョンを促進させるための確固たる政策が求められる。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

国連は SDG#10 のために 10 のターゲットと 11 の指標を定義している。2016 年 3 月に開催された第 47 回国連統計委員会で合意された SDG 視標の一つは、2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族性、出身地、宗教、経済的およびその他のステータスにかかわらず、すべての人に力を与え、その社会的・経済的・政治的インクルージョンを促進させることである。直接的な投資とともに、人々の移動を促進させることも拡大しつつあるギャップを橋渡しする上で重要である。

平等と非差別の権利は国際法の礎石である⁴⁶。スポーツ大会を含むスポーツは平等性のメッセージを増幅させ、差別的な慣習に対処し、多様性の価値を促進し、人権に基づいた包括性のためのプラットフォームになることができる。2000 年以降、持続可能な開発へのスポーツの貢献度を高めるために、幅広い範囲で数々の政策や実践による介入が模索されてきた⁴⁷。

スポーツは女性や若者などの個人のエンパワーメントに貢献するものとして常に認識されてきており、それに参加することは、障害ではなく能力を披露することで意識を高め、尊厳を促進し、障害者の社会進出の機会をもたらしている。そのため、スポーツは年齢、性別、人種、民族性、出身地、性的指向、ジェンダー・アイデンティティ、宗教、経済的およびその他のステータスにかかわらず、全ての人のインクルージョンのために有効活用できる⁴⁸。

不平等を削減する目標は、既存の不平等に対する意識を高め、

46 <https://www.efdn.org/sport-addressing-sdg-goal-10/>

47 https://www.sportanddev.org/sites/default/files/downloads/enhancing_the_contribution_of_sport_to_the_sustainable_development_goals_.pdf

48 <https://www.efdn.org/sport-addressing-sdg-goal-10/>

それらを削減するためのスポーツ関連の政策やプログラムを確立させることで、スポーツ内、そしてスポーツを通じて達成できる⁴⁹。

例

StreetGames (英国)

StreetGames はスポーツの力を借り、英国各地の不利な立場にいる若者の生活にポジティブな変化をもたらしている。

StreetGames の旗艦プログラムは「Doorstep Sport」と呼ばれ、これは一般的に貧困層の者が直面する参入障壁の多くを取り除くような身体活動の提供方法の一種である。



ウェブサイト：<https://www.streetgames.org>

GAME

GAME は 2002 年に発足し、若者が主導するストリートスポーツや文化を通じて永続的な社会変化をもたらすことをミッションに掲げている。溝を埋め、紛争を克服するために、GAME は革新的な施設を設立し、ストリートスポーツや市民社会における指導者ならびにロールモデルとしてユースリーダーを教育している。デンマーク、レバノン、ソマリランド、ヨルダン、ガーナで提供されている活動はアーバンスポーツ、ダンス、都市文化を融合するものである。ウェブサイト：<http://gamedenmark.org/en/>



Sport in All Levels, for Everyone プロジェクト (アゼルバイジャン) は IOC ヤングリーダーの Sakina Valiyeva 氏が運営し、パナソニック社が後援者となっている。このプロジェクトは SDG#10 をターゲットとし、地域の公立学校や孤児院で実施されている。



 https://www.youtube.com/watch?v=I_Wm8ffV-yY;

<https://www.youtube.com/watch?v=TxuNIhiof9s>

⁴⁹ https://www.un.org/sport/sites/www.un.org.sport/files/ckfiles/files/Sport_for_SDGs_finalversion9.pdf

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES



目標 11：住み続けられるまちづくりを

本目標のグローバルな導入と統計データ

2018 年には、世界の人口の約 55.3%が都市部で暮らしており⁵⁰、2030 年までには 60.4%にまで増える見込みである。急速な都市化（およびそれに十分に対応する我々の能力の欠如）は大気汚染の増加⁵¹、不十分な基本的なサービス、スラム街で暮らす人数の増加⁵²、社会的統合度の低下、より顕著な不平等、適切な交通機関への劣悪または限られたアクセス⁵³、公共のオープンスペースへの不十分なアクセス⁵⁴などの多大な結果を生み出しており、都市居住地の持続可能性を脅かしている。

より大きな規模では、（都市部の人口のそれよりも速い⁵⁵）都市の急速な成長から派生する適切な都市計画の欠如と無計画なスプロール現象は、都市による公共のオープンスペースの提供と分布の減少と、安全性や気候変動および自然災害に対する回復力の低下を招いている。「スプロール現象が 10%拡大するたびに一人当たりの二酸化炭素排出量が 5.7%増加し、一人当たりの有害汚染量が 9.6%増加している」⁵⁶と推定されている。

そのような数字を念頭に置き、SDG#11 はこれらの問題に取り組み、より持続可能で人間と環境に配慮した未来に向けて歩みつつ都市の発展にこれまで寄与し、今後も発展を推進し続けるような便益を都市が引き続き提供することを可能にするような施策を醸成することに注目している。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

スポーツが基本的なサービスや住宅、インフラなどにどの程度貢献しているかについては議論の余地があるものお⁵⁷、スポーツが一般に広く知られていることやその露出度を踏まえると、**教育、アドボカシー、啓発のための強力かつ特権的なプラットフォームである**⁵⁸。

国連人間居住計画は、全都市地域の 15%を公共のオープンスペースとして使用することを推奨している⁵⁹。スポーツ関係者は地域の自治体と密接に連携し、コミュニティにより良く貢献するための解決策を考案することができる。

- ・ 公共のオープンスペースの計画立案と使用を再考し、人口が抱えるレジャーやスポーツ、レクリエーションの必要性を満たすとともに、オープンスペースの様々な形態のバランスを図ること
- ・ 積極的なモビリティや生涯を通じた健康的なライフスタイルにより十分に貢献しうる主な実践やイニシアチブ、インフラの概要を示すこと

50 <https://data.worldbank.org/indicator/SP.URB.TOTL.IN.ZS?end=2018&start=2015>

51 2016 年には、10 人中 9 人の都市居住者が、WHO の粒子状物質に関する空気質ガイドラインによる基準を満たしていない空気に曝露していた (<https://undocs.org/E/2019/68>)

52 2014 年の時点で、10 人中 3 人の都市居住者がスラム街で暮らしていた (<https://sustainabledevelopment.un.org/sdg11>)

53 「2018 年には、平均して都市居住者の 53%が公共交通機関へ便利にアクセスできていた」 (<https://undocs.org/E/2019/68>)

54 2018 年には、都市人口の 21%が自宅から公共のオープンスペースまで歩行距離 400 m 以内で暮らしていた (<https://undocs.org/E/2019/68>)

55 https://www.un.org/ga/search/view_doc.asp?symbol=E/2017/66&Lang=E

56 https://www.un.org/ga/search/view_doc.asp?symbol=E/2017/66&Lang=E

57 https://thecommonwealth.org/sites/default/files/inline/CW_SDP_2030%2BAGenda.pdf

58 https://www.un.org/sport/sites/www.un.org.sport/files/ckfiles/files/Sport_for_SDGs_finalversion9.pdf

59 https://unhabitat.org/sites/default/files/2020/03/cwpsps_guidebook_20200116.pdf

より広範なレベルでは、Active Wellbeing Initiative⁶⁰などのプロジェクトが地域のベストプラクティスがスケールし様々な国々へ普及することを担保する上で重要である。加えて、スポーツ組織はコミュニティに根付いている。これらの組織は社会において重要な対人スキルの発展、アイデンティティの構築、社会的な結束において重大な役割を果たしている。スポーツへの参加と関与を適切に導けば、個人のエンパワメント、差別や不平等、ならびに未成年による反社会的な行為の削減に貢献する。

例

Active Well-being Initiative



2017年に発足したActive Well-being Initiative (AWI)は身体活動、すべての人のためのスポーツ、健康、福祉を促進させることを目指している。AWIは、身体活動とSports for All管理制度を開発・実施し、包括的な認証プロセスに従っている都市を認識する「Global Active City」ラベルを立ち上げている。このような認証を受けている都市はいくつかあるが、その例としてブエノスアイレス (ARG)、ローザンヌ (SUI)、ハンブルグ (GER)などが挙げられる。また、精神的な福祉、文化、芸術などの幅広い領域の発展を認識するGlobal Well-being Cityラベルの開発にも取り組んでいる⁶¹。<http://activewellbeing.org/>

PACTE—Promoting Active Cities Throughout Europe



PACTEはスポーツ・アンド・シティズンシップ⁶²が主導するプロジェクトであり、Active Citiesの創出に向けて自治体の観点から身体活動率の上昇に取り組んでいる。本プロジェクトではいくつかの目標を掲げているが、主なものとしては欧州全域を代表する自治体の身体活動に関する政策や実践のサーベイとActive Citiesを目指すための変化のマトリックスの開発が挙げられる。<http://www.pacteproject.com/presentation/>

Smart Cities and Sport



2014年に発足したSmart Cities & Sportは、スポーツを通じて目標を達成しようとしている都市が集まるネットワークである。この取り組みは、都市間のみならず国際的なスポーツ連盟とのつながりも含めた実践、スキル、知識を普及させるための独特のプラットフォームを提供している。<https://www.smartcitiesandsport.org/>

ISCAのOpen Streets Day



International Sports and Culture Association (ISCA)による年一回行われる一日間のイベントであり、ラテンアメリカの閉鎖された道路であるCiclovíasの概念⁶³にヒントを得ているOpen Street Dayは、通常は乗り物が行き来する都市部の公道を使って体を動かすような活動を可能にしている。2019年に開催された第一回目には、31ヶ国における105の都市で172ものイベントが催された⁶⁴。<https://open-streets-day.nowwemove.com/>

60 <http://activewellbeing.org/>

61 <http://activewellbeing.org/global-well-being-city/>

62 <https://www.sportetcitoyennete.com/>

63 <https://www.uci.org/news/2019/streets-open-up-to-people-across-europe-on-22-september>

64 <https://www.youtube.com/watch?v=7uEAHZyNj5o>

12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION



目標 12：つくる責任つかう責任

本目標のグローバルな導入と統計データ

持続可能な消費と生産は資源とエネルギー効率の促進、持続可能なインフラ、基本的なサービス、緑、まともな仕事、より良い生活の品質へのアクセスを全ての人に提供することに関わる。それを実施することは、全体的な開発計画を達成し、将来の経済・環境・社会コストを削減し、経済的な競争力を強め、貧困を削減するために役立つ。

2020年4月には、欧州委員会の Ursula von der Leyen 委員長が、コロナウイルス危機に関する EU の行動について、この状況では「大規模な改修、再生可能エネルギー、クリーンな輸送、持続可能な食糧と自然の回復への投資がこれまでよりもさらに重要になること」を断言する可能性があった。⁶⁵。そのため、グローバルリーダーとして、欧州は持続可能な開発目標を達成するためのプログラムを定義する上で重要な役割を担っている。新しい Eurobarometer 調査（環境に対する欧州市民の態度 (Attitudes of European citizens towards the Environment) ⁶⁶、2020年3月出版）、欧州市民の94%が「環境の問題に取り組むための最も効果的な方法は、『私たちの消費の在り方を変えること』と『私たちの生産と貿易の在り方を変えること』である」と考えている。

この責任は国際レベルでも感じられており、ILO の Guy Ryder 事務局長は、アジェンダの横断的な鍵としてユースと SDG#12 の両方の役割に言及し、若者がその願望を実現し、生活状況を改善させ、社会に積極的に参加するためには、生産的かつまともな仕事へのアクセスが最良の方法であることを強調している。若者が就けるまともな仕事は経済を強化し、若い消費者、貯蓄者、生産者層を生み出す⁶⁷。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

持続可能性と責任ある消費・生産は、国際スポーツ運動にとっても大きな課題となっている。実際、スポーツは廃棄物問題の問題の一部であるものの（歴史的に、スポーツ施設は多量のゴミを生み出す存在である）、**解決策の一部になることもできる**。

スポーツイベントの開催中に**持続可能な実践**を保証する施策の策定と実施すること、または学校の体育館やスポーツクラブの施設の改修を支援することは、双方にとって有益なことである。

この意味では、スポーツが若い世代のみならずコミュニティ全体に対しても持っている力を忘れる必要はない。これは、スポーツ大会の主催者（とそのスポンサー）にとって好ましいイメージを意味するだけでなく、主要なスポーツ大会を主催することに関心を示している可能性がある公的機関にとってもインセンティブとなることが考えられる。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は 100%持続可能なイベントを生み出すパイオニアになるようとしており、「**リデュース (Reduce) ・ リユース (Reuse) ・ リサイクル (Recycle)**」という 3R の概念は次の大会でモットーとなる予定である！実際、オリンピック大会中は、再生紙でできた食事用の容器を観客に提供し、その使用を促す。資源を最大限活用する「**ゼロ廃棄**」を目指すことが主な目標である。

65 https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en.%C2%A0/speech_20_675

66 <https://ec.europa.eu/commfrontoffice/publicopinion/index.cfm/survey/getSurveydetail/instruments/special/surveyky/2257>

67 http://www.ilo.org/global/about-the-ilo/how-the-ilo-works/ilo-director-general/statements-and-speeches/WCMS_509560/lang--en/index.htm

いずれにせよ、巨額の資金が東京オリンピック・パラリンピック組織委員会や IOC のために用意されていなかったとしても、持続可能性が欧州による資金調達にとって横断的な優先事項であることを踏まえると、スポーツ協会はエラスムス・プラス・スポーツプログラムが用意している資金を利用し、より良い持続可能な社会・経済の推進者としてのスポーツの役割を前進させる協力的なパートナーシップを行動に移すことができる。

例



サステナビリティ概要：オリンピック・ムーブメントのための実用ガイドシリーズ

[https://stillmed.olympic.org/media/Document%20Library/OlympicOrg/IOC/What-We-](https://stillmed.olympic.org/media/Document%20Library/OlympicOrg/IOC/What-We-Do/celebrate-olympic-games/Sustainability/Plastic-game-plan-for-sport-guide.pdf#_ga=2.251810954.207136602.1588059335-54117928.1568887559)

[Do/celebrate-olympic-games/Sustainability/Plastic-game-plan-for-sport-guide.pdf#_ga=2.251810954.207136602.1588059335-54117928.1568887559](https://stillmed.olympic.org/media/Document%20Library/OlympicOrg/IOC/What-We-Do/celebrate-olympic-games/Sustainability/Plastic-game-plan-for-sport-guide.pdf#_ga=2.251810954.207136602.1588059335-54117928.1568887559)

スポーツを通じた気候行動（IOC）マニュアル

[https://stillmed.olympic.org/media/Document%20Library/OlympicOrg/IOC/What-We-Do/celebrate-olympic-games/Sustainability/sustainability-](https://stillmed.olympic.org/media/Document%20Library/OlympicOrg/IOC/What-We-Do/celebrate-olympic-games/Sustainability/sustainability-essentials/SUSTAINABILITY-ESSENTIALS-IS-SUE-2.pdf#_ga=2.138608560.207136602.1588059335-54117928.1568887559)

[essentials/SUSTAINABILITY-ESSENTIALS-IS-SUE-2.pdf#_ga=2.138608560.207136602.1588059335-54117928.1568887559](https://stillmed.olympic.org/media/Document%20Library/OlympicOrg/IOC/What-We-Do/celebrate-olympic-games/Sustainability/sustainability-essentials/SUSTAINABILITY-ESSENTIALS-IS-SUE-2.pdf#_ga=2.138608560.207136602.1588059335-54117928.1568887559)

フィンランドで開催された大会が示すスポーツにおけるサーキュラー・エコノミーへの道 <https://sustainabilityreport.com/2020/03/26/finnish-events-show-the-way-for-circular-economy-in-sport/>



イベント主催者のための FEI サステナビリティ・ハンドブック

<https://inside.fei.org/fei/your-role/organisers/handbook>



GRN Sportswear



<https://www.youtube.com/watch?v=1Bo12qD-EsE>

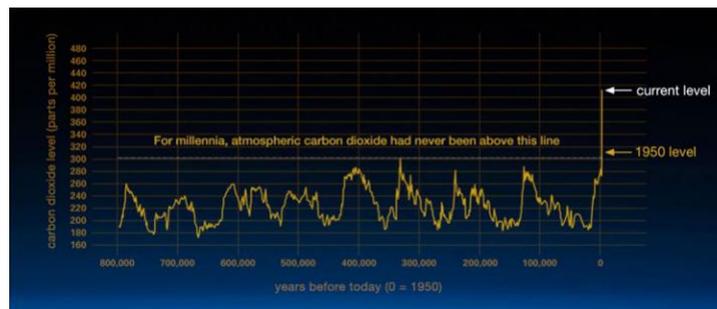
13 CLIMATE ACTION



目標 13 : 気候変動に具体的な対策を

本目標のグローバルな導入と統計データ

今日、気候変動は私たちの惑星にとって深刻な問題となっている。地球の気候は過去数十年間のうちに激しく変わっている。2019年の統計データによると、地球の平均表面温度は20世紀の平均気温よりも0.95°C暖かくなっている⁶⁸。また、大気中CO₂も過去数年の間に顕著に増加している。この地球規模での気候異常は海水面の上昇、北極の氷の減少、気象関連の大災害の増加などの原因となっている可能性がある。



出典 : <https://climate.nasa.gov/evidence>

私たちの気候におけるこれらの変化は、極端な気温による競技場のグラウンドの損傷、長期間にわたる早魃や洪水、暴風雨によるインフラへの被害、海辺のスポーツ施設に直接影響する海岸の侵食や海水面の上昇、冬季の温暖化と天然の雪の不足による標高の低い場所にあるスキーリゾートが直面する脅威など、スポーツにも直接的に影響している。

しかし、スポーツは、気候変動への取り組みに貢献するツールとしても利用できる。スポーツの人気とリーチは、何百万人もの人々とコミュニケーションをとり、情報を提供し、刺激を与えることができるというスポーツの相乗効果を通じて、持続可能な開発や環境に優しいライフスタイルなどについて意識を高め情報を共有する機会をもたらしている。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

第一に、国際的なスポーツ組織やスポーツ統括団体がこの問題に取り組むための措置を講じている。例えば、FIFA は、世界各地や開催国での**低炭素開発プロジェクト**に取り組み始めている。また、MLS のようなサッカーリーグはリーグレベルでの環境維持活動を推進しており、サッカー協会は炭素排出量を削減し気候変動への対処するための取り組みを行っている。ワールドセーリングは、2030 アジェンダ（セーリングの世界的な持続可能性への取り組み）の一環として、オーシャンレースと共同で開発した持続可能性教育プログラムを、セーリングクラブや保護者向けに公開している⁶⁹。

68 <https://www.statista.com/topics/1148/global-climate-change/>
69 <https://www.sailing.org/about/Sustainability.php#.Xq8kJMza03>

カトヴィツェで開催された COP24 では世界のスポーツセクターと国連気候変動会議によってスポーツを通じた気候行動枠組みが立ち上げられ、スポーツ組織がお互いから学び合い、優れた実践を普及させ、新たなツールを開発し、相互利益が得られる領域で協力するために、以下の原則の下に団結することを目指している。

1. 環境に対する責任感を高めるための組織的な取り組みの実施
2. 気候に対する全体的な影響の削減
3. 気候変動に対する行動のための教育
4. 持続可能かつ責任のある消費の推進
5. コミュニケーションを通じた気候変動対策の提唱



📺 動画 : <https://youtu.be/ZN1lqh5dfJo>

📺 動画 : <https://youtu.be/xRUgV54aqe4Thisinitiative>

エコツーリズム：スポーツは、持続可能な観光やライフスタイルを促進し、スポーツイベントの開催都市などでは、持続可能な観光商品やサービスを提供することができる。スポーツ関連の公共キャンペーンは、スポーツイベントに参加する際などに、**旅行者のフットプリントを最小限に抑えエコモビリティを促進する方法**を教育することができる。例えば、**環境に優しい宿泊施設の予約サイト**を利用することもできる。bookdifferent.com のようなサイトは、選択した内容に基づいて 1 泊あたりの二酸化炭素排出量を計算し、エコフレンドリーな評価も掲載している。**地域経済に還元されるような宿泊施設を選ぶこと**。lokal のような会社は、環境や社会への影響を考慮した旅行やアクティビティを企画することで、面倒な手続きを代行してくれる。

また、スポーツ用品メーカーは、持続可能な開発に大きく貢献することができる。例えば Starboard 社は**世界初のプラスチック・オフセット・プログラム (POP)** を立ち上げている。このプログラムでは、素材の寿命、リサイクル/バイオコンテンツ、環境への影響などを考慮して、それぞれの素材にドルの価値を与え、それを製品の製造にどれだけ使用したかに乗じている。ボードを購入すると、プラスチック・オフセット・プログラムを通じて、より多くのゴミを拾うことに貢献していることになる。

📺 動画 : <https://youtu.be/7rI08gJrPqI>

同企業は、このテーマについて教育を提供することで、汚染の問題を学校が理解することを手伝っている。Starboard 社は世界中の学校を対象に、環境問題に特化した一年間のカリキュラムプログラムに投資している。子供にサステナビリティについて教えることで、**彼らは未来を形作っている。「地球のための親善大使」**。 <https://blue.star-board.com/projects/education-program/>

スポーツにおける環境教育も非常に重要であり、例えば環境関連のスポーツ大会の開催、自然や環境と調和したスポーツのためのモデルの開発と実施、スポーツ協会やクラブによる業務や幅広い層の人々との対話において環境に関するコミュニケーションをよりしっかりと定着させることなどが挙げられる : <https://thesportjournal.org/article/sports-and-the-environment-ways-to-wards-achieving-the-sustainable-development-of-sport/>

例



Football4Climate は **Sport and Sustainability International (Sand-SI)** による複数年にわたるプログラムであり、サッカー産業とともに、そして同産業のために、そのインパクトに対処し、サッカーの文化的および市場における影響を活用して気候に関する啓発活動を推進し、サッカー産業全体で気候のためのアクションを促進している。

ウェブサイト：www.football4climate.org



Sport4Climate はアスリートの知名度とスポーツ産業の人気度を利用しているイニシアチブである。#Sport4Climate キャンペーンは、スポーツがどのようにして最も手強い地球の敵に取り組んでいるのかを披露する世界的なコミュニケーション・イニシアチブである。ウェブサイト：<https://www.connect-4climate.org/initiatives/sport4climate>



GreenSportsBlog は多忙になりつつある緑とスポーツの交差点に対応するために立ち上げられた取り組みである。LEED 認定されている会場からゼロ廃棄ゲームやエコアスリートまで、GSB はグリーン・スポーツを広くカバーしている。ウェブサイト：<https://greensportsblog.com/about/>



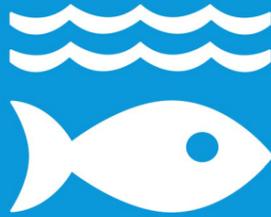
Athletes for the Earth はアースデイネットワーク (Earth Day Network) によるキャンペーンであり、地球の日のためのスポークスマンとしてオリンピックやプロ選手を紹介し、環境に対する意識と活動を高め、気候変動の対策に注目している。このイニシアチブは気候変動に対処するためにアスリートの声を役立て、アスリートによる環境との相互作用を説明し、人気のあるアスレチック活動と環境スチュワードシップを結び付けること、若者のためのロールモデルを奨励すること、アスリートが競うことを可能にする健全な気候条件へのアスリートによる独特の依存度の表現、PSA と公の場に立つことによる環境スチュワードシップの促進といった目標を掲げて立ち上げられたものである。ウェブサイト：<https://www.earthday.org/campaign/athletes-for-the-earth/>

Kenyans on Ice : ホッケーのスター選手たちが#ClimateAction のために試合を行う。



https://www.youtube.com/watch?time_continue=42&v=aaIRw2NqG50&feature=emb_logo

14 LIFE BELOW WATER



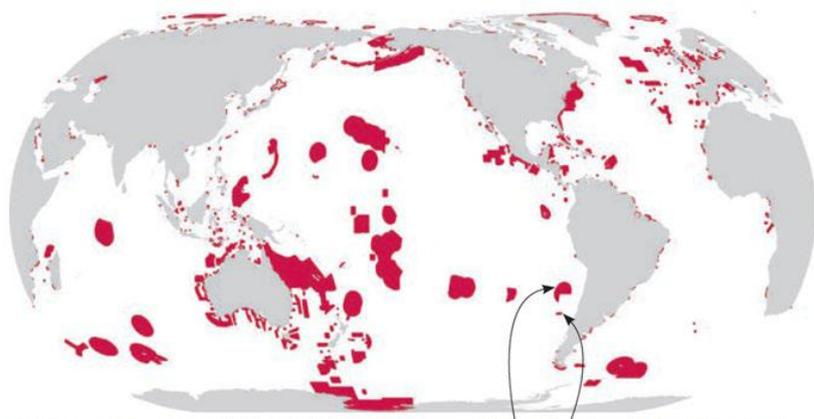
目標 14 : 海の豊かさを守ろう

本目標のグローバルな導入と統計データ

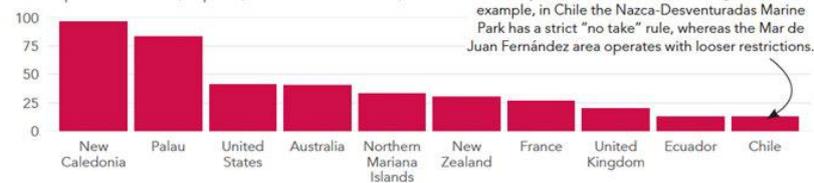
世界の海は、その温度、化学的特性、海流、生命を含め、地球を人類にとって住みやすくしているグローバルなシステムの原動力となっている。雨水、飲み水、天候、気候、海岸線、食料の大半、さらには私たちが吸う空気に含まれる酸素までが、最終的には海によって供給・調節されている。歴史を通じて、大洋や海は貿易や輸送のための重要な導管であり続けてきた。これらの必要不可欠な地球の資源を慎重に管理することは、持続可能な未来のための重要な特徴である。

Only about 7 percent of the world's ocean area is designated as marine protected area, officially reserved for long-term conservation.

Marine protected areas, 2018



Marine protected areas, top 10 (% of territorial waters)



Note: Excludes countries with less than 50,000 sq. km of protected area.

Source: UNEP-World Conservation Monitoring Centre Database on Protected Areas. WDI (ER.MRN.PTMR.ZS) and <https://protectedplanet.net>

出典 : UNEP—World Conservation Monitoring Centre Database on Protected Areas

大洋や深海では、持続可能性は脆弱な生息地を守るための国際協力の体制を強化することによってのみ達成できる。生物多様性を保全し、漁業のために持続可能な未来を確保するために、政府保護水域を対象に包括的で効果的かつ公平に管理されたシステムを確立させるべきである。地域レベルでは、海に由来する製品の購入や食品を食べることに際して、必要なものだけを消費するような海に優しい選択をすべきである。手始めに、認証された製品を選ぶことから始めてみると良いだろう。公共交通機関の利用や電気製品のコンセントを抜くなど、私たちの日常生活の中で小さな変化を重ねていくことでエネルギーを節約できる。これらの行動は、海水面の上昇の要因となっている私たちのカーボンフットプリントを削減する。我々は、可能な限りプラスチックの使用を撤廃し、

浜辺の清掃活動を組織化すべきである。最も重要なこととして、海洋生物がどれだけ重要であり、なぜそれを守る必要があるのかについて、メッセージを広めることができる。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

スポーツを利用した啓発活動は、環境保護に対する意識を高め、海辺や海洋生物の保護など、地域の環境保全に対するコミュニティの反応を高めることができる。スポーツイベントや関係者を含むスポーツは、海や海洋の保護の重要性に関するメッセージを発信すると同時に、この文脈での政策展開を促すことができる。

例

廃棄物をスニーカーに変えて、海を守り、海のために走る

Adidas は、スポーツには人生を変える力があるだけでなく、世界をも変える力があると信じている。これは、スポーツウェアブランドのモットーのようなものではない。実際に身につけることのできる具体的なものである。海洋プラスチック汚染の脅威に対する認識を高めるため、同社はランニングシューズ「Ultra BOOST」の大規模なキャンペーンを行っている。このシューズがとても素晴らしく環境に優しいのは、沿岸地域や浜辺から回収された独自のプラスチックである「Parley Ocean Plastic」を使用しているためである⁷⁰。



出典：Adidas

これに加えて、「Run for the Ocean」グローバルキャンペーンでは、海洋プラスチックの脅威について意識を高めるために手をつなぎ共に走るよう各コミュニティを招待している⁷¹。2019年6月8日から16日にかけて、AdidasはRuntasticアプリ上でRun for the Oceanチャレンジ内で1 km走ると\$1を寄付するキャンペーンを行っている。ウェブサイト：<https://www.runtastic.com/rfto/ngeo>

 動画：https://www.youtube.com/watch?v=PDTi91q8WIM&feature=emb_logo

⁷⁰ <https://www.adidas.com/us/sustainability>

⁷¹ <https://adidas.com/us/runfortheoceans>

15 LIFE ON LAND



目標 15 : 陸の豊かさを守ろう

本目標のグローバルな導入と統計データ

SDG#15 には、陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の促進、持続可能な方法での森林管理、砂漠化との闘い、土地の劣化の阻止と回復、生物多様性の損失の阻止という原則がある⁷²。地球上では小さい方であるものの、陸域環境は私たちに最も近い環境であり、植生被覆から都市部まで、最も多様な環境を包含している。例えば、森林は陸域生態系の重要な一部であり約 16 億人が森林に依存して生活しており、世界最大の森林であるアマゾンでは 3,000 万人の先住民族が暮らしている⁷³。また、陸生動物、植物、昆虫の全種の 80%以上が森林に生息している⁷⁴。森林を持続的に管理することは、生物多様性を維持することでもある。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

スポーツは、国土の保全・保護に非常に重要な役割を果たすことができる。このように、スポーツイベントは、レガシー計画の一環としていくつかの取り組みを行っており、この例をリードしている。これらの例のうち、二つはオリンピック大会によるものである。

2016 年、リオデジャネイロでは、すべてのアスリートが「アスリートの森」の一部となる種を、競技公園のひとつ (Deodoro Park) に植えるよう招待された。最近完成したこの森 (2019 年 12 月) は、他の会場による破壊を補うものであるが、「pau-Brasil」などの絶滅危惧種の保護を促進するものでもある。

東京 2020 (2021 年開催) では、開催に向けた準備として、森や公園をきれいにする活動が展開されている。また、メダルや表彰台を消費財の包装材でリサイクルする取り組みは、地球をきれいにするだけでなく、環境を大切にす文化の醸成にも役立っている⁷⁵。

例



東京オリンピックは、賞与するすべてのメダルを再利用した材料のみによって作製した初のオリンピック大会である。 : Japan taps into recycled phones for Olympic medals (オリンピックのメダルのために、日本がリサイクルした電話を活用)



リオデジャネイロ・オリンピック大会を機に、14,000 本の木を植える。 : Mutirão replanta quase 14 mil árvores da „Floresta dos Atletas “ no Rio



Global Goals Impact Games : <http://ggimpactgames.com/inspiration/>

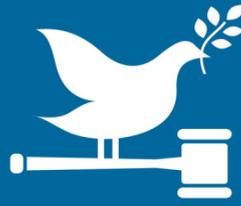
72 <https://sustainabledevelopment.un.org/sdg15>

73 https://wwf.panda.org/knowledge_hub/where_we_work/amazon/about_the_amazon/

74 <https://www.worldwildlife.org/habitats/forest-habitat>

75 <https://tokyo2020.org/en/news/key-sustainability-projects>

16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS



目標 16：平和と公正をすべての人に

本目標のグローバルな導入と統計データ

国連総会によると、「持続可能な開発は、平和と安全なくしては実現できず、持続可能な開発なくして平和と安全は危険にさらされる」とされている⁷⁶。透明な公的手続き、民主的な社会、法の支配は、武力による暴力をなくし、公共の福祉を確保することができる。一般的に、SDG16の主な目的は、公正で平和かつ包括的な社会、強固な制度を促進し、暴力を再び誘発・根絶することである。現在、2017年末までに6,850万人が強制的な移動を強いられているという悲しい統計データがある⁷⁷。汚職、賄賂、脱税などの犯罪行為は各国に年間\$1兆2600億ドルもの被害をもたらしている⁷⁸。人権擁護者の殺害、子供に対して振るわれている様々な形の暴力、公正への平等なアクセスの欠如は悩ましい問題である。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

国連は、スポーツを通じて平和な世界を築くために、「オリンピック停戦」決議を採択した⁷⁹。オリンピックは「平和の祭典」として捉えられるという宣言に加えて、一般的に、スポーツを基盤とした教育活動は、暴力の削減を促進し、戦争や紛争の「犠牲者」となった国の和解と再建を支援し、特徴あるグループ間の良好な関係を発展させることができる。この宣言は、オリンピックだけでなく、Peace and Sportのような国際組織や、「開発と平和のためのスポーツ (SDP)」運動の関係者が行っている、スポーツに基づいた開発への介入にも表れている。世界的なNGOであるPeace and Sportはスポーツ、体育、身体活動の力を借りて平和と公正を促進させ、主に紛争や極度の貧困による影響を受けている国家において平和と発展を醸成できるスポーツの力を利用するために国際平和組織、スポーツ組織、政治的アクターのパートナーシップを構築している。さらに、国連はスポーツセクターの外交および平和構築の可能性を認識しており、2015年の国連総会では、平和構築のツールとしてスポーツを促進することを目的とした決議に署名している⁸⁰。世界的な「開発と平和のためのスポーツ」運動はここ数十年で大きな発展を遂げており、90年代の初めからSDP組織の数は倍増している。

スポーツに基づいた教育活動は、固定観念を取り払う学習の機会を提供し、分断された文化の統合を支援する。賢く活用すれば、スポーツは人々を結びつけ、平和と相互理解を促進する可能性と能力を持っている。オリンピック・ムーブメントの創始者であるピエール・ド・クーベルタンは、最も強制的な平和の要素の一つがスポーツであることを今も信じており、その将来の行動に自信を持っていると述べている⁸¹。賢明に活用すれば、スポーツは人々や国家の間における社会文化的な違いを軽減し、攻撃性に抵抗することができる。スポーツ外交の枠組みの中では、スポーツ大会は侵略された国家をまとめるプラットフォームになれる。この良い例としては、2018年の冬季オリンピック大会での北朝鮮と韓国の合同代表団や、アパルトヘイトと戦い最終的に南アフリカの人々を団結させることを

76 <https://sustainabledevelopment.un.org/post2015/transformingourworld>

77 <https://www.unhcr.org/news/stories/2018/6/5b222c494/forced-displacement-record-685-million.html>

78 <https://www.transparency.org.uk/corruption/corruption-statistics/>

79 <https://www.un.org/en/events/olympictuce/>

80 <https://www.sportanddev.org/en/document/un-reports-un-resolutions/un-resolution-sport-development-and-peace-building-peaceful-and>

81 <https://www.sportanddev.org/en/article/news/spirit-olympism-unites-us-all>

目指していた 1995 年のラグビーW 杯などが挙げられる⁸²⁸。さらに、エリートアスリートは、そのロールモデルとしてのステータスにより、大衆のための人権保護の重要性を奨励することができる。

例



ワールドテコンドーは、世界中の難民キャンプでテコンドーを奨励するためにテコンドー人道財団を設立している。

Peace and Sport (モナコ)



Peace and Sport は、スポーツを行うことによって平和と公正を奨励する国際組織である。さらに、同組織は、国家アクター、スポーツ組織、平和機関の間におけるパートナーシップを構築しているため、スポーツ外交の世界において強力な立場にいる。ウェブサイト：<https://www.peace-sport.org/on-the-field/act-for-what-matters-2/>

Football for Hope, Peace and Unity (ルワンダ)



スポーツマンシップの精神により 1994 年に起きたルワンダの大量虐殺を生き延びたルワンダの元サッカー選手 Eric Murangwa 氏は、サッカーと人生におけるチャンピオンの育成を目指す Football for Hope, Peace and Unity と Dream Team Football Academy を設立している。このチームは、人々の民族性や社会的ステータスに関係ない平和と統一の促進に貢献している。動画：<https://www.youtube.com/watch?v=Cn5fAHxsY9s>

Fight for Peace (ブラジル)



ブラジルでは、極度の貧困、社会的排除、学校でのいじめが大きな問題となっている。Fight for Peace は、武術と教育を組み合わせ、暴力や犯罪の影響を受けている若者たちを育成するために設立された組織である。動画：<https://www.youtube.com/watch?v=v3q7wU-hp0Q>

Stop War Start Tennis (パキスタン/インド)

パキスタン出身のテニス選手 Aisam-Ul-Haq Qureshi 氏とインド出身のテニス選手 Rohan Bopanna 氏は、住民だけでなく、彼らの国が戦争状態にあることを理解している。彼らは「Stop War Start Tennis」という活動を通じて、平和、フェアプレー、障害者への寛容性、そしてスポーツを推進している。動画：https://www.youtube.com/watch?v=vrSm_w0joSI

Skateistan (アフガニスタン、カンボジア、南アフリカ)



Skateistan は、アフガニスタン、カンボジア、南アフリカの子供たちにスポーツ（スケートボード）を通じたエンパワーメントを行っている国際団体である。ジェンダー平等に配慮し、生徒の 50% を女子にしている。また、若者を社会サービスに結びつけるために、児童保護機関とのパートナーシップも構築している。Skateistan は、スポーツプログラムを通じて、子供たちがより良い平和な世界のリーダーになる機会を与えることを目指している。このプロジェクトは、2020 年に IOC Women and Sport Award を受賞している。ウェブサイト：<https://www.skateistan.org/>

開発と平和のためのスポーツの国際デー



2013 年、国連総会は 4 月 6 日を「開発と平和のためのスポーツの国際デー」に定めた。Peace and Sport が 2015 年に立ち上げたホワイトカード（白いカード）デジタルキャンペーンは、この日を祝うことを目的としている。ホワイトカードを掲げることはフェアプレイ、インクルージョン、公平、平和を象徴する。ウェブサイト：<https://www.april6.org/en/white-card/the-origins-of-whitecard.html>

82 <https://www.nytimes.com/2018/02/09/world/asia/olympics-opening-ceremony-north-korea.html>

83 <https://www.youtube.com/watch?v=HrgvgqFIHsY>

17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS



目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう

本目標のグローバルな導入と統計データ

SDG#17 では、2030 アジェンダの実施手段の強化を求めている。特に、世界中で持続可能な開発を実現するためのグローバルパートナーシップへの参加を呼びかけている。これは、SDGs アジェンダ全体を成功裏に進めるために絶対に必要なことであり、非常に多くの目標やターゲットを実践するために重要なことである。2030 アジェンダの実施を成功させるためには、より効果的で持続可能な開発を実現したいと願う人々がパートナーシップの重要性を認識しなければならない⁸⁴。

目標を達成するためにスポーツはどのように役立つのか？

通信技術がより身近になるにつれ、さまざまな国の人々がこれまで以上に相互に結びつくようになっている。スポーツの持つ団結力は、持続可能な開発目標を推進する影響力のあるネットワークを構築するための複数のグローバルプラットフォームの一つとなっている。

開発目標のためのスポーツを達成するためには、相互に関連するステークホルダーの新しいパートナーシップを確立することが不可欠である。持続可能な開発アジェンダを成功させるには、政府、民間企業、市民社会、大学などのパートナーシップが必要である。また、パートナーシップには、スポーツ連盟や各国のオリンピック・パラリンピック委員会、スポーツクラブ、学界、寄付者、メディアなど、さまざまなステークホルダーの集団が含まれることもある。品質の高い枠組みでは、すべてのステークホルダーを過程に巻き込まなくてはならない。この時点では、持続可能な開発に向けたスポーツの貢献度を高める上で、国家のリーダーシップや効果的な政策立案が大きなインパクトを与える。パートナーシップにおけるスポーツのダイナミックな性質と強い影響を活用することに関しては、国別に考慮する必要がある。それに応じて、一部の政府が実施し成功を収めている枠組みのモデルを理解し、スポーツにおけるパートナーシップの構築に関する知識のSDGへの移転を奨励することが非常に重要となる。

このような状況において、英連邦事務局の活動は、持続可能な開発目標に対するスポーツの貢献度を高めるために、各国政府が実施可能な政策的解決策を生み出す上で、非常に重要な例となる。英連邦は、国際的なスポーツ政策のフレームワークを開発するために、国連機関、政府間機関、主要なスポーツ団体と協力している。これらのイニシアチブは、英連邦の加盟国が、スポーツと持続可能な開発に関するマルチセクターのパートナーシップに関与する能力を向上させ、コミュニティ全体でスポーツの利益を最大化するために、将来の政策やプログラムを対象とする能力を高める。英連邦内の各政府、非政府組織、スポーツ団体によるスポーツに基づいたアプローチは教育、雇用、健康、ジェンダー公平、子供や若者の安全に貢献する⁸⁵。

84 <https://sustainabledevelopment.un.org/sdgl>

85 <https://thecommonwealth.org/sites/default/files/inline/EnhancingtheContributionofSporttotheSustainableDevelopmentGoals.pdf>

Pacific Sport Partnership プログラム (オーストラリア、太平洋地域)



今日では、持続可能な開発目標を達成するために、スポーツ、身体活動、遊びを利用した地域レベルでの強力なガバナンスの枠組みが見られる。「Pacific Sport Partnership プログラム」は、オーストラリア政府とスポーツ団体・連盟とのパートナーシップに基づいて構築されており、9カ国の16のスポーツを支援しており、非伝染性疾患に関連する主要なリスク要因（特に身体活動）、および女性、女子、障害者が経験する不平等に対処するための活動を提供している⁸⁶。詳しくは次のURLを参照のこと：
<https://www.dfat.gov.au/people-to-people/sport/sport-for-development/pacific/Pages/sport-for-development-pacific>

オリンピック難民財団



スポーツ関係者が協力して、集団的な目標や具体的な目標を達成する方法には、多くの成功例がある。国際組織のリーダーは、行動を管理し、効果的なパートナーシップを構築する上で、重要な役割を果たしている。オリンピック難民財団は、国際オリンピック委員会が国連、国際機関、非政府組織、その他の財団と協力して設立したもので、スポーツを通じて弱い立場にある子供や若者の保護、育成、エンパワーメントを支援することを目的としている。このパートナーシップは、安全な環境で難民や避難民がスポーツに参加するための多大な機会を提供している。

詳しくは次のURLを参照すること：

<https://www.olympic.org/olympic-refuge-foundation>

Green Sports Alliance



スポーツは、特定の目標やターゲットの達成に向けて持続可能な開発への貢献を強化するための素晴らしいツールとなる。スポーツを基盤としたパートナーシップは、SDGの各目標の実施を強化する上で有効である。その一例として、Green Sports Allianceは、健康で持続可能なコミュニティを促進するために、スポーツが持つ文化的・市場的な影響力を活用している。再生可能エネルギー、健康食品、リサイクル、水利用の効率化、生物種の保存、より安全な化学およびその他の環境にとって望ましい実践を採用するために、アライアンスは世界中からステークホルダー（チーム、リーグ、競技連盟、会場、企業パートナー、政府機関、選手、ファン）を召集している。詳しくは次のURLを参照のこと：

<https://greensportsalliance.org>

86 <https://www.dfat.gov.au/sites/default/files/sdg-voluntary-national-review.pdf>

3. ユーススポーツと持続可能な開発

現在、10～24歳の人口は18億人にのぼり、史上最大の若者世代となっている。彼らの90%近くが発展途上国に住んでおり、人口の多くを占めている。2015年から2030年の間だけでも、約19億人の若者が15歳になると予測されており、その数はさらに増えることが予想されている。若者たちは、これまでにないほど互いに結びつき、革新的な解決策を提案し、社会の進歩を促し、政治的な変化を促すことで、地域社会の回復力に貢献したいと考えている。また、若者は変革の担い手であり、人々の生活と地球の健康を改善するための「持続可能な開発目標」を推進するために動員されている⁸⁷。



出典：<https://www.un.org/youthenvoy/2017/04/youth-sdgs-enables-youth-participation-sustainability-lat-in-america/>

スポーツは、その世界的な影響範囲、普遍的な魅力、そして世界中の何百万もの人々を刺激し影響を与えることができる力により、独特の立ち位置にある。世界的なスポーツ運動は、その実践や政策により持続可能な「グリーンング (greening)」を行うことで、実例を示すことができる一方で、スポーツの分野内外でより持続可能な未来について社会の意識を高めることもできる。国連と 2030 アジェンダは持続可能な開発の重要なイネーブラーとしてスポーツを認識しており、同セクターによる健康、福祉、教育、寛容性、平和、連帯、および数多くの事柄への貢献度が高まりつつあることを認めている。

重要なのは、スポーツが、若者の社会的スキルやソフトスキルの向上につながる公式・非公式教育のツールとして広く認識されていることである。青少年スポーツがすべての答えを提供するわけではないものの、若者を対象とするスポーツ団体（スポーツクラブなど）は、持続可能な開発の特定の側面に対処するために重要な役割を果たせる。持続可能な開発を可能にするものとして青少年スポーツを考えると、気候変動対策の提唱など、さまざまなテーマを教育するための他のツールと組み合わせて使用することで、その可能性を認識することが重要である。Sport Plus や Plus Sport プログラムのコンセプトは、スポーツをノンフォーマル教育の媒体として活用する方法や、スポーツの分野以外で持続可能な開発に関する教育に参加する若者を惹きつける方法を理解する上で役立つ。

87 <https://www.un.org/sustainabledevelopment/youth/>

3.1. 意思決定におけるユースの参加と SDG に向けたユース・アドボカシー

潜在能力を発揮するために必要なスキルと機会が与えられれば、若者は開発を支え、平和と安全に貢献する原動力となる。若者主導の組織は、2030 アジェンダを地域、国、地域の政策に反映させることに参加するよう奨励され、権限を与えられる。また、アジェンダの実施、モニタリング、レビューにおいて重要な役割を果たすとともに、政府に責任を負わせる役割も担う。政治的なコミットメントと十分な資源があれば、若者は世界をすべての人にとってより良い場所に最も効果的に変えることができる可能性を持っている。

ENGSO Youth のポジションペーパー「Youth Sport for Climate Action」によると、持続可能な開発に関連するグローバルなスポーツ政策は、**未来が今日のグローバルな行動にかかっている若者を積極的に取り込むことで形成されなければならない**としている。ENGSO Youth は、持続可能な開発と気候変動対策に関する世界的な青年諮問グループを設立し、国内および国際的なスポーツ組織に青年委員会を設置し、すべてのレベルにおける若者の意見や声をよりよく反映させるべきだと強く信じている。若者の諮問機関は、組織内の持続可能な慣行を改善するために、若者が独自のイニシアチブの開発や、パートナーシップの締結、知識移転の機会を求めたりすることを奨励することもできる。さらに、中規模・大規模なスポーツイベントの主催者は、**持続可能な開発や気候変動対策に関連した若者主導のピアツーピアの学習活動**のために、適切な枠組みを提供しなければならない。国際的なスポーツ大会の前、中、後に開催される教育的なサイドイベント、ワークショップ、セミナーは、若いボランティア、観客、アスリートの持続可能で環境に優しい行動へのコミットメントを強化し、国連の持続可能な開発目標への認識を高めるために利用することができる。

若者の役割と SDG*

1. **クリティカル・シンカー (Critical Thinkers)** : 若いということは、個人の体験から意味を見出し、周りの世界について質問をすることを伴う。若者には、既存の権力構造や変革に対する障壁を特定・挑戦し、矛盾やバイアスを暴露する能力がある。
2. **チェンジメーカー** : 若者は行動し、他の者を動員する力も持っている。ユース・アクティビズムは世界中で見られるようになっており、ソーシャルメディアへの広範な接続性とアクセスによって補強されている。
3. **イノベーターと社会起業家** : 新鮮な観点をもたらすことに加えて、若者は大人がアクセスできない課題に関する直接的な知見や洞察を有していることも多い。若い社会起業家は、地域の問題に対し、重要な課題に対処しつつ雇用を提供し経済成長に貢献する解決策を革新している。
4. **コミュニケーター** : 国際開発セクターの外では、世界各地のリーダーが 2030 年までに人々の生活や地球環境を改善するための歴史的で広範な合意に至っていることを知っている人は少ない。若者は、地域レベルや国家・地域間で開発アジェンダを仲間やコミュニティに伝えるためのパートナーになることができる。
5. **リーダー** : 若者が自分たちの人権に関する知識によって力を付け、リーダーシップのスキルを身に付けると、彼らはそれぞれのコミュニティや国で変化の原動力となることができる。特に、若者主導の組織やネットワークは、特に社会の隅に追いやられているユースを含む若者

88 <https://www.un.org/sustainabledevelopment/youth/>

3.2. 持続可能な開発、オリンピック・ムーブメントと若者

2011年にドーハで開催された「スポーツと環境に関する IOC 世界会議」では、環境に配慮した開発の促進における若者の重要な役割が強調された。ドーハ宣言 28 では、IOC と NOC が「環境と持続可能な開発に関する若者のための教育プログラムを開発・支援する」こと、NOC が「特に恵まれない地域の若者を持続可能な開発活動に参加させる取り組みを促進・支援することを検討する」ことが提言されている。

IOC ヤング・リーダーズ・プログラム (ヤングチェンジメーカーズ)

これまで「ヤング・チェンジ・メーカーズ・プログラム」として知られていた IOC ヤング・リーダーズ・プログラムは、2019 年 IOC ユースサミットのキックオフの際に正式に名称が変更された。ヤング・リーダーズ (ヤング・チェンジ・メーカーズ) は、「健康と活発な生活」、「インクルージョン」、「持続可能性」、「平和・開発」などのテーマで社会起業活動を率先して行い、より良い世界のためにスポーツの力を活用した独自のプロジェクトを実現する。ユースオリンピック大会 (YOG) に参加するために各 NOC から推薦された 18 歳から 25 歳までの若いリーダーたちは、元アスリート、学生、若いスポーツ専門家、国内オリンピック委員会のスタッフなどで構成されている。ヤングリーダーは、国際オリンピック委員会のユースサミットに招待され、若者が声を上げ、彼らに影響を与える問題について IOC 会長と議論する機会が与えられる。5,000 スイスフランの IOC シード資金の支援を受けて、彼らはスポーツを使ってより良い世界を作ること的成功しており、2017 年以降、世界各地で 50 以上の草の根プロジェクトを立ち上げ、地域の何千人もの人々に影響を与えている。



出典：<https://www.olympic.org/news/ioc-to-host-global-gathering-of-inspiring-young-leaders-ahead-of-laus-ane-2020>

3.3. ユーススポーツと持続可能な開発に関するワーキングプラクティス

UNESCO Sport and the SDGs Youth Funshop

 イントロ：<https://www.youtube.com/watch?v=8zb4F6geKkk>

UNESCO はスポーツを守り促進させる義務を負う国連の主要機関であり、持続可能な開発と平和へのスポーツによる貢献を前進させることに尽力している。

2017 年 11 月には、フィリピンのマニラで開催される UNESCO Sport & the SDGs Youth Funshop に参加するため、

何百件もの応募の中から 10 ヶ国を代表する 22 名の東南アジアの若者が選ばれた。得られた結果は Asia-Pacific Youth and Sport タスクフォースの結成であった。第二回 Sport & the SDGs Youth Funshop は 9 月 5 日から 8 日にかけて韓国のソウルで開催された。



出典：<https://bangkok.unesco.org/content/unesco-sport-and-sdgs-youth-funshop-seoul-republic-korea-5-8-september-2019>

三日間かけて開催されたこのイベントは、持続可能な開発と平和のためのツールとしてスポーツを活用しているユース活動家の能力を育むために特別に設計されていた。Funshop 参加者には、2017 年 11 月にフィリピンのマニラで開催された第一回 Sport Funshop で設立された活気に満ちた若手リーダーのネットワークである UNESCO Youth and Sport タスクフォースのメンバーになる機会も与えられた。

アジア・太平洋地域の各国から 60 名の優れた若手リーダーが、韓国のユースとともに、ソウルで三日間の集中ワークショップ、スポーツ・アクティビティ、交流イベントに参加した。

UNESCO ユース戦略 2014-2021 に沿っている Funshop の優先事項や具体的なテーマは、UNESCO とともにタスクフォースのメンバーが決定した。

Funshop に関する詳しい情報は以下のリンクからご覧いただける：

- ・ http://www.unesco.or.id/publication/Funshop_Seoul2019_Brochure.pdf
- ・ <https://en.unesco.org/events/2019-unesco-sport-and-sdgs-funshop>
- ・ <https://bangkok.unesco.org/content/unesco-sport-and-sdgs-youth-funshop-seoul-republic-korea-5-8-september-2019>

UNESCO Youth and Sport タスクフォースとは？

Youth and Sport タスクフォースは、アジア・太平洋地域でコミュニティの前向きな社会変化をもたらすためのツールとしてスポーツを活用している情熱を持った創造的かつ革新的な若手リーダーを代表している。

タスクフォースをリードしているのは若者である。彼らは独自のプログラムを設計し、自分たちの優先事項を決め、集団的にタスクフォースの戦略的な方向性を決定している。UNESCO は、お互いと繋がることで各自の取り組みを促進・強化する機会や、成長と能力開発のための地域的および世界的な機会をメンバーに提供することでタスクフォースを支援している。

タスクフォースが代表するすべてのプログラムは国連の持続可能な開発目標に沿っている。

アジア・太平洋地域を横断して、何百もの人々が様々なタスクフォース・プログラムを通じて、

あらゆる技術を使用して多様なSDGをターゲットにしている。2019年9月にはタスクフォースはアジア・太平洋地域の28ヶ国を代表する60のユースメンバーにまで成長した。タスクフォースは2020年にグローバル化する予定である。

Youth and Sport タスクフォースに関する情報：

<https://www.youthandsport.org>

SDG ユース・ワールドカップ (2018)

 **イントロ**：<https://www.youtube.com/watch?v=bqwNZAKpJf4>

SDG#17によると、知識、専門性、技術、財源を動員・共有するためには、国家、複数のステークホルダーによるパートナーシップが必要である。これに沿って、モナコ公国は「SDG Youth World Cup」を開催した。このプロジェクトでは、2018年FIFAワールドカップ・ロシア大会による勢いを活用し、スポーツによるSDGへの貢献について意識を高めるとともに、ニューヨークシティの5つの行政区で暮らす80名の児童におけるスポーツの価値を強調・普及することを目指している。2018年6月23日に、10名の選手によって構成されるミックスチームが8つ競うサッカー大会が開催された。



このプロジェクトは、異なるステータスを持ち、様々な分野に由来する団体の橋渡しをするための未来のイニシアチブの例や参考として機能するように開発された。成果がSDGのアプローチと完全に整合していることは幅広い範囲のパートナーによって保証されている。さらに、各パートナーの専門性と比較的な強みを活かせることは、プロジェクトの成果物のスコープと品質を補強している。

出典：<https://www.sdgfund.org/un-presents-new-toolkit-action-how-sports-can-contribute-achieve-sdgs> プロジェクトは全体的に三つのフェーズに分けて構成されている。

第一フェーズでは、トーナメントを開催する前にSDGを紹介するために参加する子供たちと会い、それらを実施するためのスポーツの可能性について意見交換を行う機会を提供した。この試みを支えるために、UNICEFが作成したSDGを扱ったコミックブックを印刷し配布した。

第二フェーズはトーナメントそのもので、80名の男子・女子が集まり、楽しむためだけでなく、意見交換、一体感、統一、チームワークのための手段としてもスポーツを活用できることを実証する素晴らしい機会であった。8つの学校チームはそれぞれがパートナーである加盟国家を代表し、世界的に有名なイベントに参加していることを実感してもらうために、その公式のユニフォームを着用した。

第三フェーズはベストプラクティスをレビュー・評価・共有するために設計されたフェーズであった。得られた教訓と本ツールキットの開発は、世界のどの都市でも再現できる同様のパートナーシップを促進することを目指している。

このプロジェクトはモナコ公国国連代表部により、ベルギー、フランス、ドイツ、モロッコ、ペルー、大韓民国、ロシア連邦、セネガルの国連代表部とのパートナーシップとSDG-Fund、UNICEF、国連女性機関、NYC Department of Youth and Community Development、NYC Mayor's Office for International Affairs、ニューヨーク・シティFCによる支援の下で開発された。

ユース・ワールドカップに関する詳しい情報は以下のリンクより得られる。

- ・ <https://mission-un-ny.gov.mc/News/SDGs-Youth-World-Cup-2018>
- ・ <https://www.hellomonaco.com/news/latest-news/un-monaco-organises-sdgs-youth-world-cup-2018/>
- ・ <https://www.sdgfund.org/un-presents-new-toolkit-action-how-sports-can-contribute-achieve-sdgs>

Global Goals ワールドカップ

 イントロ : https://www.youtube.com/watch?v=k9_CS3jlNzg

Global Goals ワールドカップは、デンマークのスポーツ組織 Eir Soccer がセーブ・ザ・チルドレン、国連開発計画、その他のパートナーと協力して生み出した国際サッカーイニシアチブである。

「GGWCup は、人々や地球が繁栄するためのオルタナティブな発想を持った女性のためのオルタナティブな5対5のグローバルサッカー大会です。」エキサイティングなサッカー大会によってサッカーと持続可能な開発のアドボカシーを組み合わせることが、Global Goals ワールドカップのミッションである。サッカーをし、世界を変えたいと思うアマチュアの女性のためのグローバルなコミュニティを構築する。



出典 : <https://www.fairtrade.net/news/kick-off-for-fairness-indian-girls-team-wins-global-goals-world-cup-award>

「2004年から2015年まで、私たちはジェンダー平等のアジェンダを推し進めるという主目的の下、女性だけのサッカー大会を開催していました。私たちはロスキルド・フェスティバルやデンマーク議会の前で試合をし、女性の投票権の100周年を祝いました。2010年からは、デンマークの赤十字難民キャンプで週次でサッカーの練習セッションを主催してきました。「Asylum United」リーグは女子選手や監督が日々の運営を担っています。2008年には、女子選手にフィットするように科学的に調整した初のサッカーボールを立ち上げました。もちろん、どのような選手にも向いているものです。Eir Ballのデザインはこれまでに改良を重ね、すべてのボールはサッカーをする女性を支援し、その中にはアフガニスタンやデンマークなどの難民キャンプで暮らす者もいます。私たちは2015年にはUNDP連携し、初のSDGボールを作りました。」

詳しい情報は [こちらから](https://ggwcup.com) : <https://ggwcup.com>

Commonwealth Youth Sport for Development and Peace (CYS DP)

 イントロ : <https://www.facebook.com/cysdp>

Commonwealth Youth Sport for Development and Peace 作業部会は「開発と平和のためのスポーツ (SDP)」の分野における若手実践者によって構成される小集団である。2013年に英連邦事務局の Youth Division による

支援を受けて設立された。CYSDP は、英連邦における SDP の代表的な声へと発展している。同グループは英連邦スポーツ大臣の支持を受けており、英連邦事務総長が任命する専門的なスポーツ政策諮問機関である英連邦スポーツ諮問機関（CABOS）において常設席を得ている。

CYSDP は主に三つの戦略的テーマを抱えており、すなわち開発のツールとしてスポーツを活用することによる便益を仲間に対して「提唱・教育・実証」することを目指している。任務の一環として、作業部会のメンバーは世界中のスポーツ関連および非スポーツ関連のフォーラムに出席し、開発問題に関するユースやスポーツの立場を代表・表明している。また、研究や執筆プロジェクト、および英連邦による様々な活動を通じて SDP セクターにおける既存の知識にも貢献している。

詳しい情報はこちらから：<http://www.yourcommonwealth.org/cysdp/>



4. 謝辞

本マニュアルは、「持続可能な開発とスポーツ外交」作業部会に所属する ENGSO Youth の若手代表による貴重な貢献なくしては出版できなかつた。若手代表の Metehan Cengiz、Fabio Jorge da Silva、Ekaterina Gorokhova、Khoudija Houhou、Mirjana Ivkovic、Isaiah Kiolouglou、Martim de Portugal e Vasconcelos Ramôa、Giulia Santangelo、Csilla Szomolaiová、Sakina Valiyeva、Sandra Zwick の諸氏には、#ScoreAll17 マニュアルの内容を作成する上で時間と知識を提供して下さったことに感謝の意を表す。さらに、ENGSO Youth の卒業生の Marisa Schlenker と Niels de Fraguier の両氏は、草稿の作成過程を常に支援して下さったことに深く御礼申し上げる。

ENGSO Youth 「Sport for Sustainable Development」プロジェクトチーム：Polona Fonda、Bence Garamvölgyi、Ivana Pranjić。国士舘大学（日本）：Junko Tahara、Yuya Maki。ハンガリー体育大学（ハンガリー・ブダペスト）：Judit Kádár、Andrea Rédli、Fanni Füstös。セネガル・オリンピック・スポーツ委員会：Cecile Faye、Bacac Djileh Dieng。スポーツ・アンド・シティズンシップ（フランス）：Kiera Wason-Milne。



5. 免責事項

「持続可能な開発のためのスポーツ」能力開発プロジェクトは、欧州連合による Education, Training, Youth and Sport のためのプログラムである「エラスムス・プラス」の共同出資による大陸横断的な取り組みである。欧州連合による本出版物の制作の支援は、著者のみの見解を反映した内容を奨励していることを意味するものではなく、EU 機関（欧州委員会など）は、そこに含まれる情報のいかなる利用に対しても責任を負うことはできない。

本マニュアルを使用することで、この免責事項を完全に受け入れたことと見なす。本マニュアルは教育目的でのみ作成されているものである。欧州非政府スポーツ組織の若手委員会（European Non-governmental Sport Organisation's Youth Committee : ENGSO Youth）、そのプロジェクト・パートナー、およびそれらを代表して行動する人物は、本マニュアルおよびそれに含まれる情報の使用について責任を負うことはない。本マニュアルの内容を使用することを希望する場合、その内容が Sport for Sustainable Development プロジェクトのパートナーによって作製され、欧州連合の「エラスムス・プラス」プログラムによって共同出資されたものであることを認めることに同意するものとする。

